



事業創造デザインプログラムAdvanced 2023年度 実施報告書

2024/1

一般社団法人 社会システムデザインセンター



目次

- 事業創造デザインプログラム実施概要
- 最終報告会の発表内容
- フィードバックアンケート結果
- 修了アンケート結果

※フィードバックアンケート：最終報告会の評価者向けに実施したアンケート

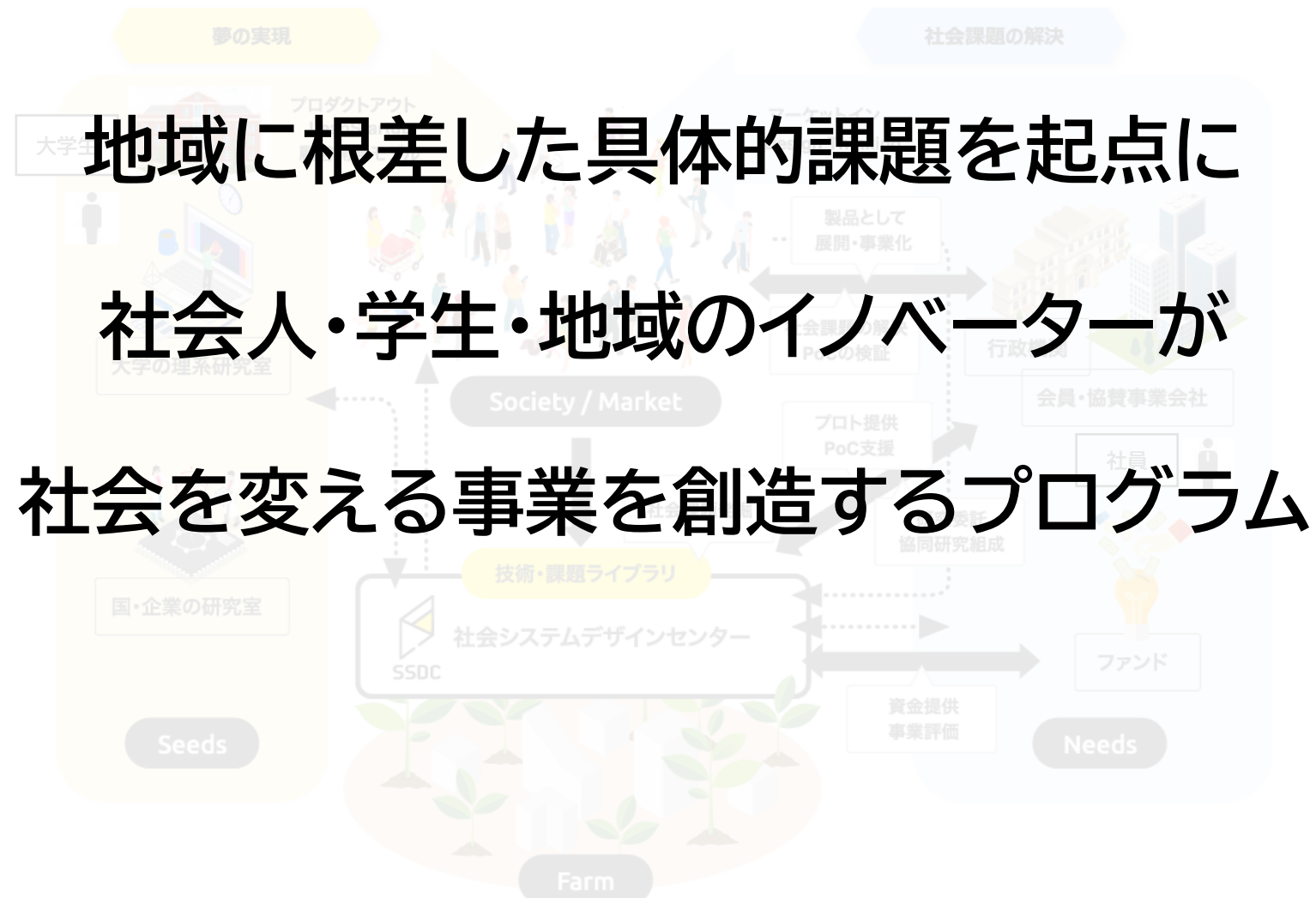
※修了アンケート：プログラム受講者向けに実施したアンケート



事業創造デザインプログラム実施概要



2023年度 事業創造デザインプログラムは...



地域に根差した具体的課題を起点に
社会人・学生・地域のイノベーターが
社会を変える事業を創造するプログラム



プログラムの想い

日本のイノベーションの起点となった**開港都市**から、社会課題解決の芽を

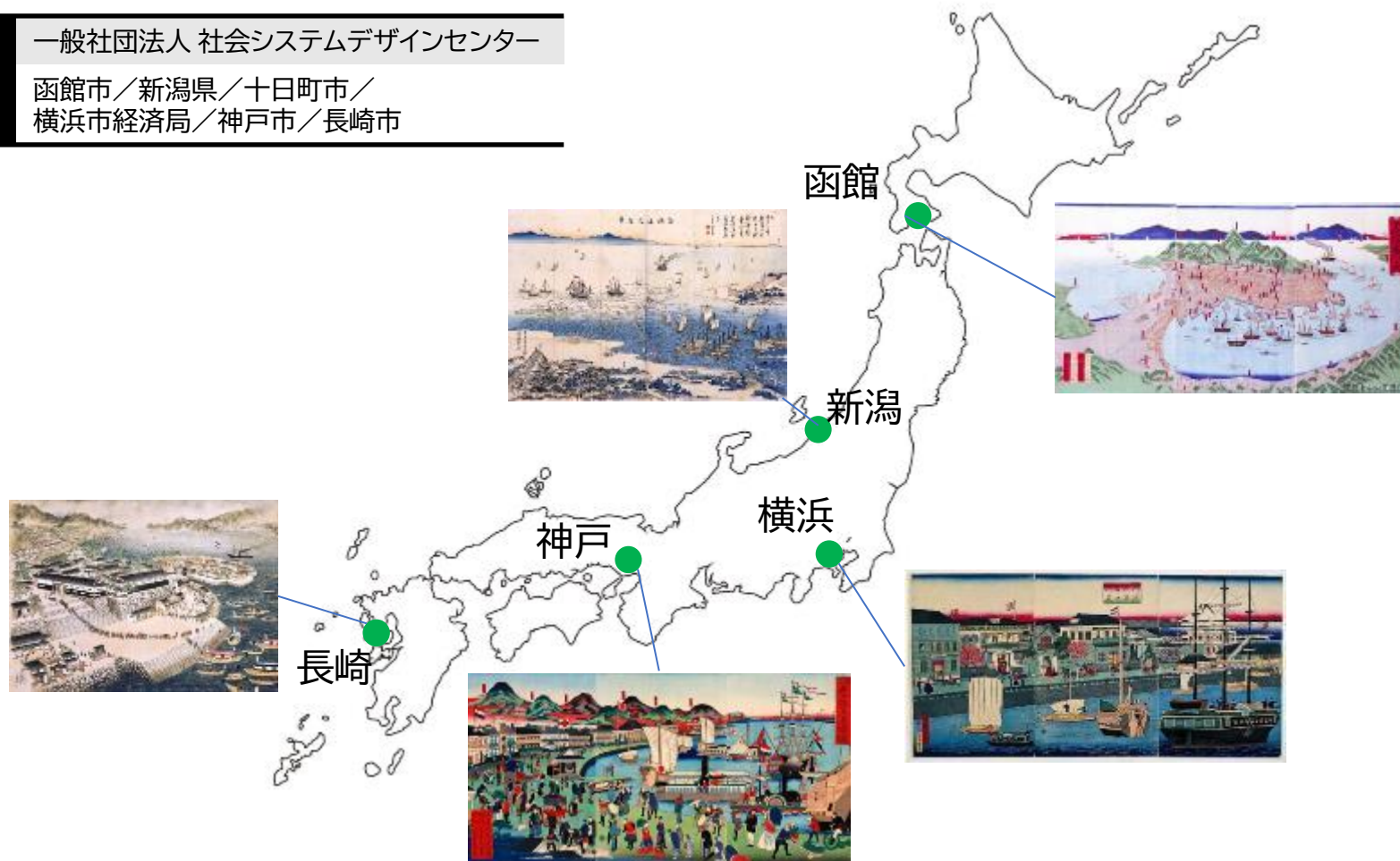
主催

一般社団法人 社会システムデザインセンター

後援

(敬称略・順不同)

函館市／新潟県／十日町市／
横浜市経済局／神戸市／長崎市





プログラムの変遷

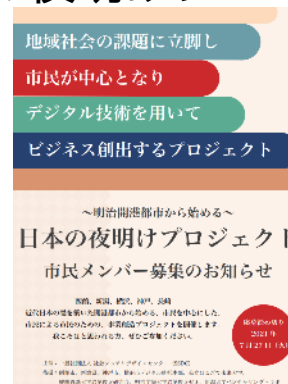
SSDC設立
事業創造デザインプログラム立ち上げ

2019

大学とのコラボレーション
(東京大学・明治学院大学等)

2020

地域課題解決型プログラムへ
(日本の夜明けプロジェクト)



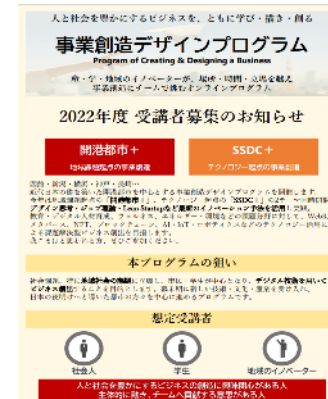
地域交流を深めながら
アイデア発想を試行

2021

地域のコンテンツを生かした
事業コンセプトを創出

自治体との連携強化
(開港都市+、SSDC+)

2022



開港5都市の地域に根差した
具体的課題を起点にした
事業創造プログラムへ

2023





プログラムの全体像

SSDCの共通目標：「社会システムのデザイン改革～課題解決」
SSDCが追及する価値：「財務＋非財務＋社会」の3要素

認知・興味関心獲得
志ある人の繋がり

フレームワーク習得

事業化検証

事業化・
社会実装

OpenHub
(サロン、シンポジウム)

事業創造デザインプログラム
/インキュベーション

インキュベーション

社会課題×テクノロジー文脈での
情報収集・ネットワーキング

教育・セミナー

ESG・SDGs文脈でのリアルショーケース化

SSDCが
フォーカスする
テーマ軸
(課題軸)

1. ウェルネス
2. 水・食料
3. エネルギー・環境
4. モビリティ
5. 防災・インフラ
6. 教育・人財育成
7. まちの魅力発掘・発信
8. 地域コミュニティ再生
9. 生成AIの利活用と育成
10. 新しいワーク/ライフスタイルの模索

社会人
(法人会員等)



学生



地域の
イノベーター



- ・ アルumni (卒業生)
- ・ 外部持ち込み、連携

事業化検証の計画をする
PreMaster

事業の実現性を検証する

Master

- ・ (社会事業の)起業
 - ・ 企業内新規事業
 - ・ NPO設立
- など**社会にイノベーションを起こし、社会システムをデザインする事業の継続的な創出**

会員各社がSSDCに期待するもの

- ・ ネットワーキング
- ・ コラボレーション
- ・ 人的資本価値向上
- ・ 事業開発力の向上

会員各社がSSDCに提供可能なリソース

- ・ ヒト
- ・ モノ
- ・ カネ
- ・ 情報

事業コンセプトを作る

Advanced

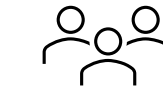
フレームワークを知る

Basic

事業創造の原点を理解する

Essential

課題解決型人材・越境人材の発掘・教育
課題発見・アイデア創出・事業開発の経験の場



- ・ 共同研究

大学・ゼミ等との共同研究の
コーディネーション

共同研究支援



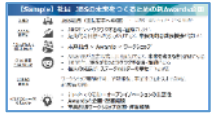
プログラムの大まかな流れ

本報告書の対象範囲

Advanced アドバンス

Master マスター

テーマ起案



課題仮説・
解決策立案

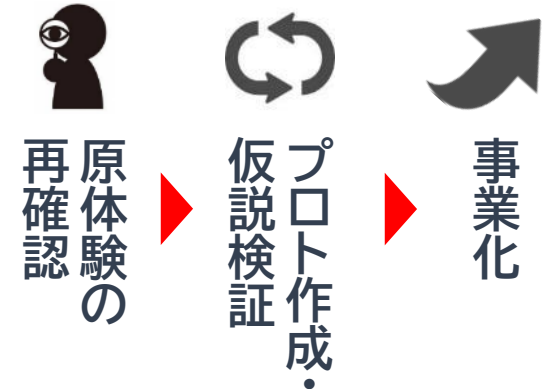
ワークショップ



審査&推薦



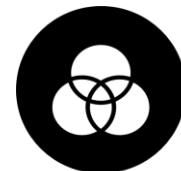
事業化検証



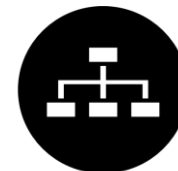
デザイン思考



ジョブ理論

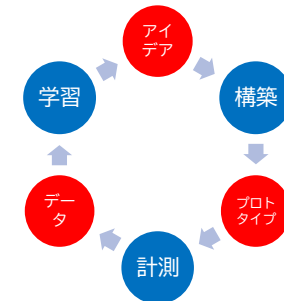


3つのジョブ
機能・感情・社会



階層構造

Lean Startup





プログラム申込・修了人数

- 社会人・学生合わせて、21名がAdvancedプログラムに参加（①参照）
- 会員企業の参加者は昨年比で減少（来季課題）。但し都築電気からの参加者は増加。（②参照）
- 地域課題解決に向けて事業化意欲の高い参加者の流入を狙い、Basicの現地開催（神戸・横浜・長崎）を実施
→地域（非会員）が大幅に増加（③参照）
- 参加者の8割に当たる17名が修了（④参照）

（ ）の値は昨年度実績

		Essential		Basic		Advanced		Master
		申込	修了	申込	修了	申込	修了	参加
目標	人数	150	120	60	50	30	24	3
実績	人数計	121	99(129)	71	66(43)	① 21(23)	④ 17(20)	?(2)
	社会人 (正会員)	57	49(103)	23	23(30)	② ↓8(13)	7	(1)
	学生	15	10(12)	11	10(9)	1(8)	1	
	地域 (非会員)	36	32(9)	35	31(4)	③ ↑12(2)	9	(1)
	一般 (非会員)	13	8(5)	2	2(0)	0(0)		
備考		・開催:7回 ・動画視聴可		・開催:6回 (うち地域開催3回) ・動画視聴あり		③社会人(正会員)の内訳 →都築電気5名、KEL2名、 JBS1名 ②地域(非会員)の内訳 →函館1名、横浜3名、新 潟4名、神戸2名、長崎2 名	社会人(正会員)1名、 地域(非会員)が3名の 計4名が業務多忙につ き離脱 (離脱率 約20%)	



Advanced実施概要

参加者属性	受講者数
学生	1名
社会人(法人正会員)	8名
社会人(各地域)	12名
計	21名

【Advancedスケジュール】

項目	テーマ	日程	時間	形態
Day0	キックオフ	7/21(金)	18:00~21:00	Zoom
Day1	課題を深堀する	8/4(金)	18:00~21:00	★リアル/Zoom
Day2	初期MVPを考える	8/5(土)	10:00~17:00	★リアル/Zoom
Day3	初期のビジネスモデルを考える	8/25(金)	18:00~21:00	Zoom
Day4	中間報告会	9/8(金)	17:00~21:00	Zoom
Day5	説得力あるビジネスプランを策定する	9/29(金)	18:00~21:00	★リアル/Zoom
Day6	プロトタイプを作成する	9/30(土)	10:00~17:00	★リアル/Zoom
Day7	プレゼンテーションの準備を行う	10/13(金)	18:00~21:00	Zoom
Day8	最終報告会	10/27(金)	17:00~21:00	★リアル/Zoom

最終報告会後の集合写真



後援

函館市／新潟県／十日町市／神戸市／横浜市／長崎市

【特別講演】

Day0

『社会課題から発想する』

片桐恭弘先生

国立研究開発法人産業総合研究所
人工知能研究センター研究センター長 /SSDC代表理事



【特別講義】

Day5

『心をプラスに動かすアイデアの
つくり方・届け方』

トイクリエイター 大澤孝さん



【特別講義】

Day6

『グソクのカ 事業立上の基本
知識』

弁護士 中島将仁先生





Advanced開催報告レポート記事（ホームページ／note）



2023年SSDC事業創造デザインプログラムAdvanced開催レポート

<https://ssdc.ai/design-program 2023-report/>

- ・ 開催概要
- ・ 各日程の開催レポート記事（note）へのリンク



2023/7/21 Advanced Day0（キックオフ）

<https://note.com/ssdc/n/n6f5c00a4e028>

- ・ 全体ガイダンス
- ・ 相互理解ワーク
- ・ 取り組みたいテーマの共有



2023/8/4 Advanced Day1（課題を深堀する）

<https://note.com/ssdc/n/nce8cbdf44bd9>

- ・ はこだて未来大学理事長・学長 片桐恭弘先生特別講演「社会課題から発想する」
- ・ バーチャルチーム決定（4チーム17テーマ）
- ・ 「課題の深堀」対話



2023/8/5 Advanced Day2（初期MVPを考える）

<https://note.com/ssdc/n/n7ef07ed765d7>

- ・ 課題の深堀、課題解決策アイデア発想
- ・ ソリューションコンセプトの全体共有
- ・ インタビュー準備
- ・ 生成AIの利活用について



2023/8/25 Advanced Day3（初期のビジネスモデルを考える）

<https://note.com/ssdc/n/na5994da155b7>

- ・ インタビューとソリューションコンセプト（更新）の共有
- ・ 初期MVP作成の事例共有（Masterフェーズ中の管釣りアプリ「AreaConnect」）
- ・ 初期MVPのシェア&相互フィードバック



Advanced開催報告レポート記事（ホームページ／note）



2023/9/8 Advanced Day4（中間報告会）

<https://note.com/ssdc/n/n390391390d8a>

- ・各チーム現状の事業アイデア案発表&フィードバック



2023/9/29 Advanced Day5（説得力あるビジネスプランを策定する）

<https://note.com/ssdc/n/nc9d24fcb0739>

- ・トイクリエーター 大澤孝さん 特別講義 「心をプラスに動かすアイデアのつくり方・届け方」
- ・各チームのビジネスモデル・成長プランの磨き上げ



2023/9/30 Advanced Day6（プロトタイプを作成する）

2023/10/13 Advanced Day7（プレゼンテーションの準備を行う）

<https://note.com/ssdc/n/n40f406139b3b>

- ・弁護士 中島将仁先生 特別講義「グソクの力 事業立上の基本知識」
- ・最終報告会に向けた、各チームの発表内容磨き上げ



2023/10/27 Advanced Day8（最終報告会）

<https://note.com/ssdc/n/n696cd5faf90a>

- ・各チーム最終報告
- ・SSDC理事・アドバイザー・会員および関係者各位からのフィードバック



参考：事業創造デザインプログラム 2023年度開催のご案内

https://ssdc.ai/design-program_2023/

- ・開催概要
- ・Essential/Basic/Advanced LPへのリンク



最終報告会の発表内容



最終報告会のプレゼンテーションの種類

①事業アイデアの発表

1テーマあたり発表 7分



②気づき・学びの発表

1テーマあたり発表 3分

■発表内容

- ・ Advanced参加によるBefore/After

※例

- ・ 氏名/所属
- ・ 参加目的
- ・ 取り組んだテーマ
- ・ プログラムを通じた気づき・学び

※発表フォーマットは自由



最終報告会における事業化発表のプレゼンテーション構成





Advanced受講者の事業アイデアと推進体制

事業化アイデアの最終発表（11アイデア） 気づき/学びの最終発表（4アイデア） 最終報告未実施

赤字：起案者 敬称略

バーチャルチーム	事業アイデア／起案者、メンバー					ファシリテーター	
猫かぶり	松之山への移住支援サービス『松之山build』	地域データ分析 LLM Agent 『八咫鏡（ヤタノカガミ）』	農業応援アプリ『ぷらっとファーム』	北海道の医療系学生向上委員会『Medical North Initiative』	-	ファシリA	全体 ファシリ 3名
b_moved	人や場所の個性を記録。人らしく移動できるナビガイド	誰でもいつまでも自由に移動できる社会 タクシー乗合募集サービス『イッショニ』	リモートワーク利活用支援サービス	Innovation Journey:夏休みの自由研究で私の可能性を解き放て！	思い出を花火として	ファシリB	
サイライC	がん患者が自分らしく、QOL高く生きていける社会	人生100年時代の生き方革命	現在と未来に沢山の子育てのストーリーを繋ぐ社会 『未来へのインタビュー』	キャリアも育児も両立できる！自分の人生の理想を叶える女性向けコンサル/講座ビジネス	-	ファシリC	
ミダス	アールーステージの飲食店経営者向け 飲食店専門サブスク型コンサルティングサービス	1日10分。音と光の安らぎで心OFFに	今ある資源を未来につなぐ！ 里山アートで地域おこし	廃業開業マッチング『ネクストステップ』～地域商店街をみんなで作るプラットフォーム～	-	ファシリD	



最終報告会で発表した事業アイデア

➤ 最終報告会にて事業化発表を実施した11個の事業アイデアとSSDCテーマ軸のマッピングは以下のとおり

事業アイデア

SSDCテーマ軸

No.	事業コンセプト	受講者	SSDC テーマ軸
1	人や場所の個性を記録。人らしく移動できるナビガイド		①／④
2	アーリーステージの飲食店経営者向け飲食店 専門サブスク型コンサルティングサービス		⑦
3	現在と未来に沢山の子育てのストーリーを繋ぐ社会 『未来へのインタビュー』		⑥
4	廃業開業マッチング『ネクストステップ』 ～地域商店街をみんなで作るプラットフォーム～		⑦／⑧
5	地域データ分析 LLM Agent『八咫鏡(ヤタノカガミ)』		⑨
6	キャリアも育児も両立できる！自分の人生の理想を叶 える女性向けコンサル/講座ビジネス		⑩
7	農業応援アプリ『ぷらっとファーム』		②
8	1日10分。音と光の安らぎで心OFFに		①
9	人生100年時代の生き方革命		⑥／⑩
10	松之山への移住支援サービス『松之山build』		⑦／⑧
11	今ある資源を未来につなぐ！里山アートで地域おこし		⑦／⑧



※複数テーマ軸に重複する分もカウント



Advancedの最終報告会発表内容

人や場所の個性を記録。人らしく移動できるナビガイド

事業コンセプトサマリー

「L00VIC」は、従来のナビゲーションと異なり、実際の景色や土地の情報を基にした音声ナビゲーションを提供します。これまでのナビゲーションは地図通りに正しく移動することに意識が向きがちです。「L00VIC」ではユーザーはアプリに声を吹き込むことで、個性的な音声ガイドを作成し、他人と共有できるため、街歩きがより楽しめる体験を届けることができます。





Advancedの最終報告会発表内容

アーリーステージの飲食店経営者向け 飲食店専門サブスク型コンサルティングサービス

事業コンセプトサマリー

アーリーステージの飲食店経営者向けに経験豊富な専門家が支援するコンサルティングサービスです。飲食店経営者が抱えるノウハウなどが共有されない課題に対して、正しい計画立案、FLRコスト管理、ビジネスモデルの構築など具体的な対策を提供。経営者はいつでも専門家に相談でき、支援を受けられます。このサービスは、飲食店経営者が同じ苦労に直面するのを避け、地域に貢献することを目指しています。



横浜を世界一の飲食街へ



小規模
飲食店専門 サブスク型 コンサルティングサービス

Copyright © Social System Design Center



Advancedの最終報告会発表内容

現在と未来に沢山の子育てのストーリーを繋ぐ社会 『未来へのインタビュー』

事業コンセプトサマリ

「未来へのインタビュー」は、子供たちが自分らしく職業を選べるよう、親が不足している経験や知識を補うサービスです。サービスを通じて職業経験者とマッチングし、実際の仕事内容ややりがい、想いなどをインタビューを通して学びます。このサービスは、子供一人ひとりの「自分らしさ」を社会に繋げることを目指しています。





Advancedの最終報告会発表内容

廃業開業マッチング『ネクストステップ』～地域商店街をみんなで作るプラットフォーム～

事業コンセプトサマリー

「ネクストステップ」は、後継者不足に悩む商店街の経営者と新規参入希望者を繋ぐプラットフォームです。廃業を考える店舗の資産活用と、アイデアと情熱を持つ新規参入者のマッチングをサポート。商店街の核となる店舗を育成し、全体の活性化を目指します。商店街の魅力を再発見し、活気あるコミュニティを創造することを目指しています。



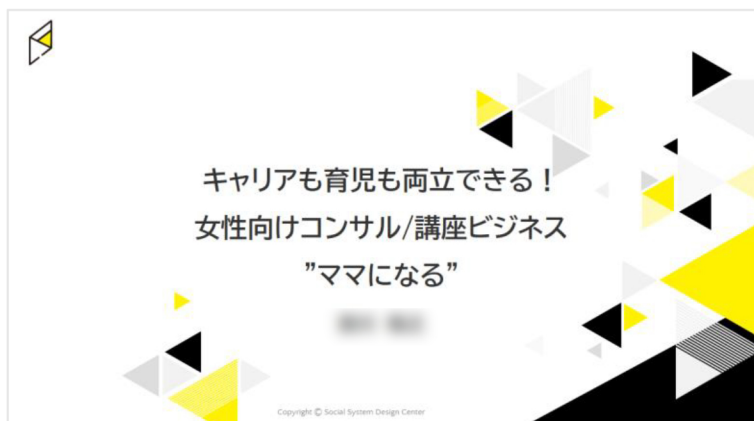


Advancedの最終報告会発表内容

キャリアも育児も両立できる！自分の人生の理想を叶える女性向けコンサル/講座ビジネス

事業コンセプトサマリー

「ママになる」は、キャリアを楽しみながら育児も両立したいと考える女性たちに向けたコンサルティングと講座のビジネスです。個別相談を通じて、悩みを深掘りし言語化できる環境を提供。さらに、同じ境遇やフェーズの仲間との繋がりを大切にし、孤独感を解消することを目指します。このサービスは、自分らしい人生を楽しみながら生きる女性を支援し、社会の変化を促します。





Advancedの最終報告会発表内容

地域データ分析 LLM Agent 『八咫鏡（ヤタノカガミ）』

事業コンセプトサマリー

「八咫鏡」は、中小規模の行政関連組織向け支援サービスです。これらの組織は人材や予算不足からエビデンスに基づく政策決定(EBPM)の実施が困難です。解決策として自動でデータから課題を検出し仮説を提示するツール、効率的なデータ収集・分析のための基盤、専門家によるコンサルティングを提供します。客観的なエビデンスに基づき、効果的な政策を実行し、より良い地域社会を築くことを目指します。



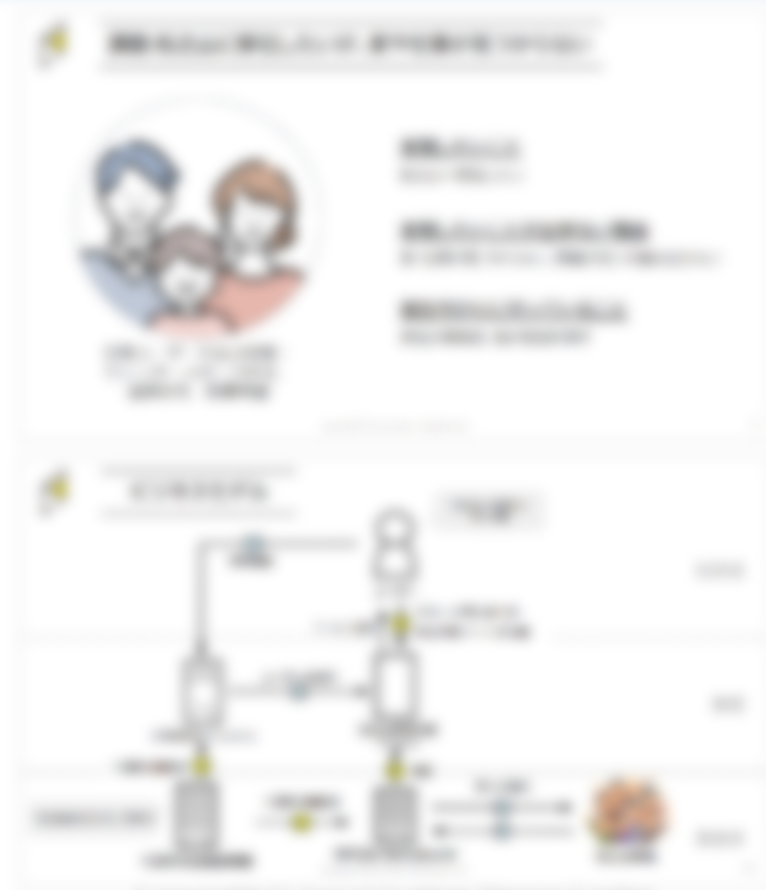


Advancedの最終報告会発表内容

松之山への移住支援サービス 『松之山build』

事業コンセプトサマリー

「松之山build」は、松之山への移住を考える人々に向けた移住支援サービスです。移住希望者が直面する住居や仕事の不足、情報不足の問題を解決するため、地元のコミュニティ内のリアルな情報提供や個人に合わせたコミュニティ形成、移住後のサポートを行い地域の活性化に貢献します。





Advancedの最終報告会発表内容

農業応援アプリ『ぷらっとファーム』

事業コンセプトサマリー

「ぷらっとファーム」は、農業に新規参入した人々を支援するアプリです。若手農家を中心に情報不足や人脈の欠如で苦勞している問題を解決します。このアプリは、農家同士、また農業に興味を持つ人々を繋ぎ、成功体験やノウハウを共有する場を提供。一人での試行錯誤を助け、農業での収益化を目指します。食料高騰の中、安定した食料供給の実現を目指すビジョンを持っています。





Advancedの最終報告会発表内容

人生100年時代の生き方革命

事業コンセプトサマリー

「人生100年時代の生き方革命」は、40～50代の忙しいビジネスパーソン向けのサービスです。日々の業務に追われ、自分の本当の望みや生涯の目標を見失っている人々を支援します。見える化ワークショップとコーチングを通じて、本当に重要なことや本気のテーマを明確にし、それに基づいて日々の行動を整えます。目指すは、一人ひとりが自分らしい生き方を実現し、豊かで幸せな社会を築くことです。





Advancedの最終報告会発表内容

1日10分。音と光の安らぎで心OFFに

事業コンセプトサマリ

「1日10分。音と光の安らぎで心OFFに」は、多忙な社会人向けのアプリで毎日のストレスを軽減します。ユーザーは音声でその日の感情をアプリに伝え、アプリはこれを分析・可視化し、応援メッセージを提供します。さらに、これらのデータを基に、デバイスが個人に合わせた音楽や光のリラクゼーションコンテンツを10分間提供。この日々の習慣を繰り返すことで心の平穏を取り戻すことができます。

1日10分。音と光の
安らぎで心OFFに



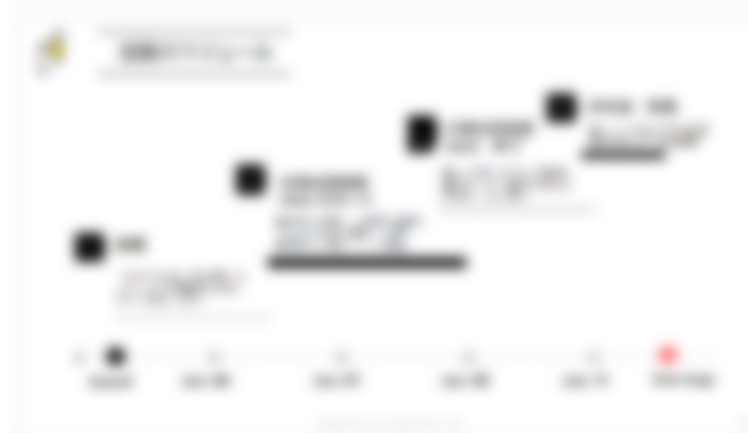


Advancedの最終報告会発表内容

今ある資源を未来につなぐ！ 里山アートで地域おこし

事業コンセプトサマリー

里山アートを活用した地域活性化プロジェクトです。地域では今ある資源の価値を理解してもらい、観光資源としての活用していく部分に課題があります。解決策として、駅前広場でのマルシェや音楽イベント、地域住民向けワークショップを実施。これらの活動を通じて、地域の魅力を引き上げ、人々を引きつけることで地域を活性化し、過疎化への対策を図ります。





最終報告会の全体講評

最終報告に参加したSSDCアドバイザー・理事からの総評（一部抜粋）

一番最初の方のだけ聞くことができなかったが、内容は面白かった。
一つ感じたのが検討したプランを成功させる蓋然性の分析が甘かった。
またシニア世代の方々にもこのようなプログラムを提供していく価値があると感じている。

あえて厳しいことを言うと、みなさんが発表された内容は性善説で考えている。ぜひ性悪説の視点でも壁打ちしてみると、ビジネスの枠がさらにしっかりとすと思えます。

皆さんのプレゼンを聞いて、改めて人間はどうやって生きたらいいのかを考える。なぜ自分は生きているのか？命があるのか？そういった根底の部分から考えを深めていく。
今後も活動を継続してくためにご自身のフィロソフィーを考え、継続して頑張ってください。

長期間、本当にお疲れ様でした。一番感じたことはみなさんの熱い思い。
それはとてもいいこと。熱い思いを基本にユーザーの方にどれだけの価値を提供できるか。魅力的に感じて頂けるか。それを考えていく。
Advancedは時間が限られているので、Master（事業化検証）でそこを突き詰めるのが大切。AIなどのキーワードは出てくるが、どういう技術をどのように使うのか。そこをシャープにしていく。
最初はみなさんが感じた問題点をコアにして進めるが、それを一般化していく。法律等はすぐには変わらないので、社会が変わるイメージを思い描きながら進めてほしい。
このプログラムは異質な集まり。ぜひここで出会った縁を大事にして頂き、色々な活動を進めていって頂きたい。



フィードバックアンケート結果



Advanced最終報告会のフィードバックアンケートサマリ

回答者属性	回答数
理事・監事・アドバイザー	0名
SSDC法人正会員企業 関係者(事務局含む)	13名
SSDC個人準会員	1名
自治体	3名
その他SSDC関係者	1名
計	18名

項目概要

・ 事業化に向けたフィードバック

- ・ 社会性（事業化に向けて応援したいと感じたか？）
- ・ 事業性（事業アイデアに投資したいか？）
- ・ 事業として立ち上がっていくためのアドバイス
- ・ 事業化に向けて組織または個人として支援できること
- ・ 最終報告内容へのフィードバック
 - ・ 顧客、課題、解決策、デモ、市場展望と差別化要素、ビジネスモデル、ビジョン、熱意

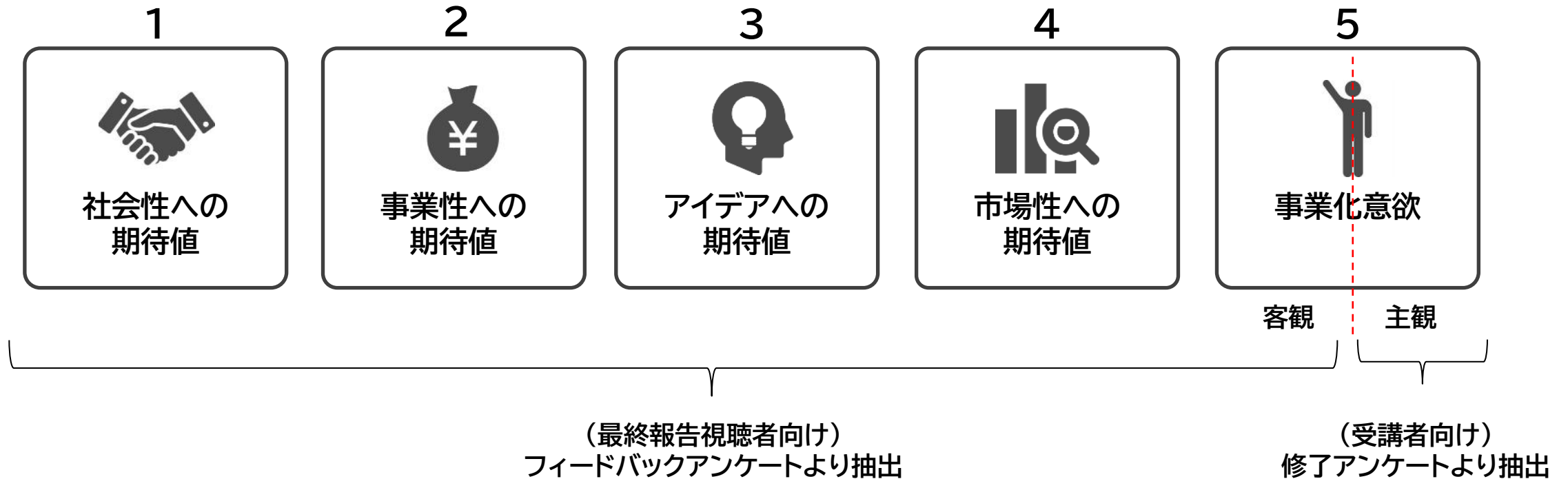
・ 事業創造デザインプログラムへのフィードバック

- ・ プログラムを通しての感想、良かった点、改善すべき点



評価・推薦の基準

- 以下の評価観点をもって、最終報告会后に実施したアンケート(視聴者向け／受講者向け)のとりまとめを実施(集計結果の数値化・レーダーチャート化)





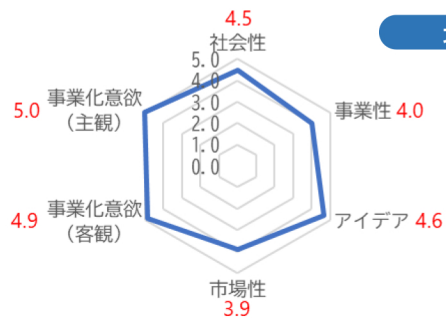
11の事業アイデアへのフィードバックサマリ

事業化意欲（主観）以外の5つの観点の平均値

支援
候補

1

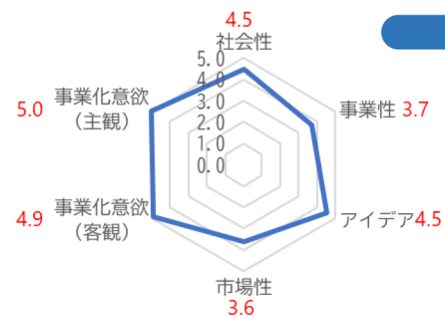
4.4



支援
候補

2

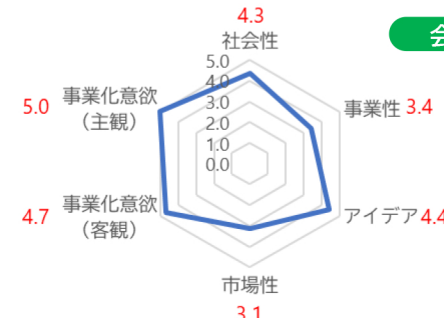
4.2



支援
候補

3

4.0

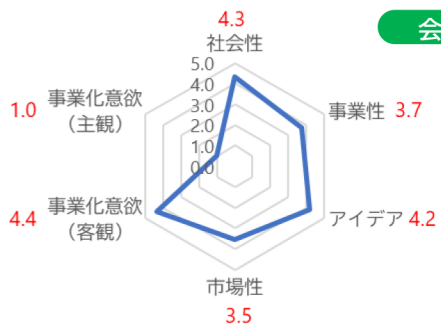


会員企業

非対象

3

4.0

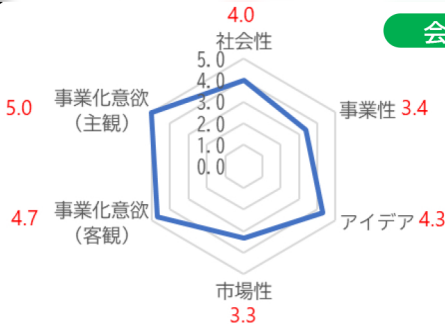


会員企業

非対象

3

3.9

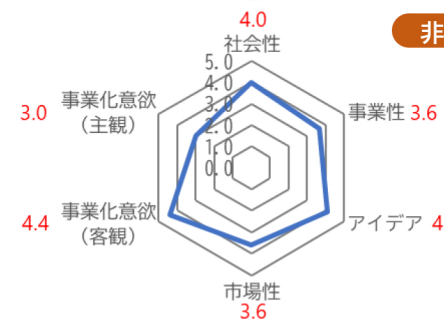


会員企業

非対象

6

3.9



非会員企業



11の事業アイデアへのフィードバックサマリ

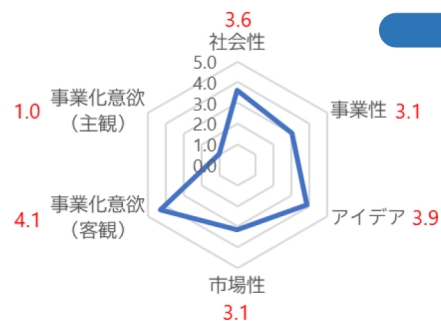
事業化意欲（主観）以外の5つの観点の平均値

非対象

7

3.6

地域

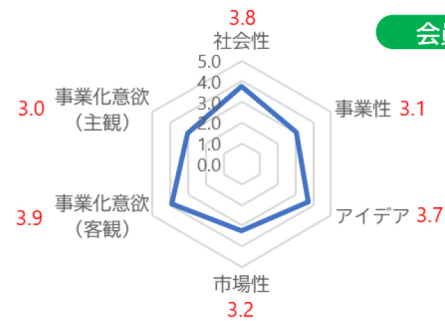


非対象

8

3.5

会員企業

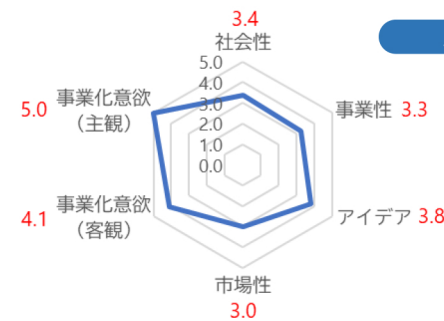


非対象

9

3.5

地域

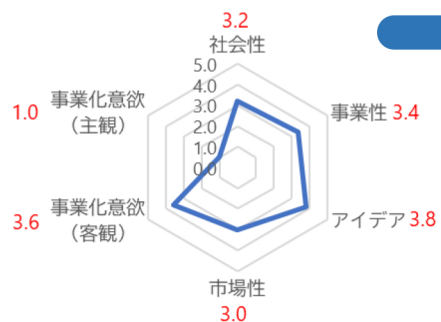


非対象

10

3.4

地域

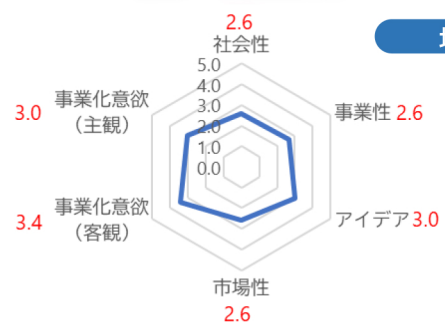


非対象

11

2.8

地域



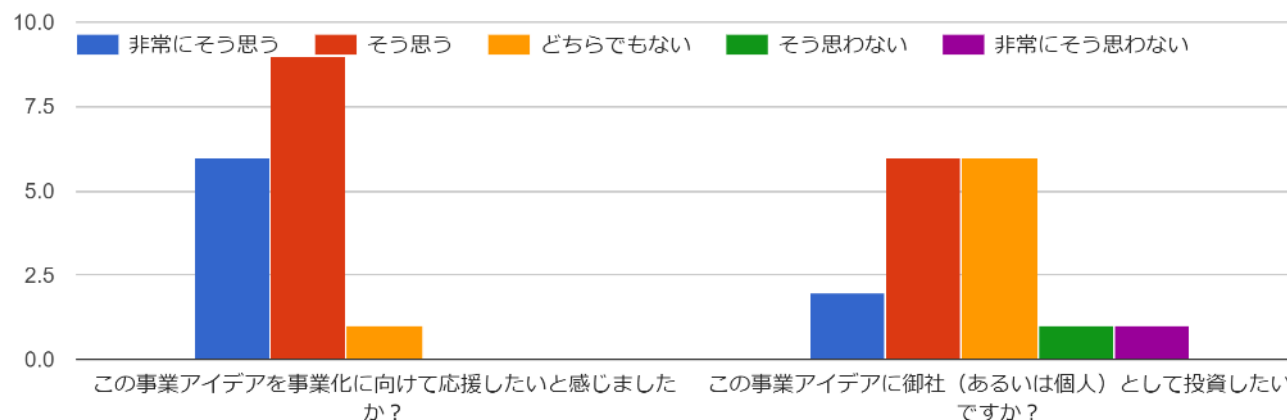


Advanced最終報告会 各チームへのフィードバック

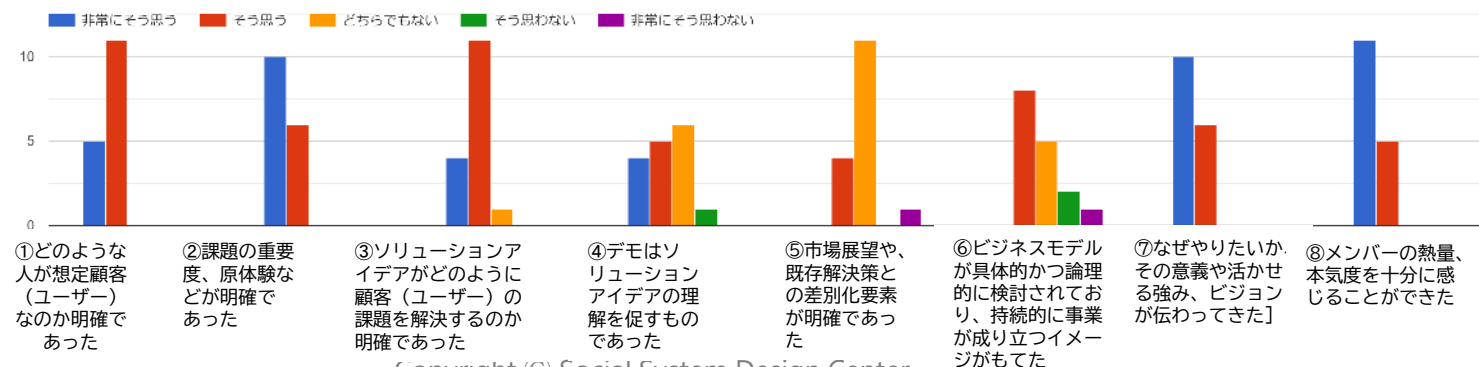
抜粋

現在と未来に沢山の子育てのストーリーを繋ぐ社会 『未来へのインタビュー』

現在と未来に沢山の子育てのストーリーを繋ぐ社会
『未来へのインタビュー』 についてご評価ください



現在と未来に沢山の子育てのストーリーを繋ぐ社会 『未来へのインタビュー』 の最終報告内容（事業アイデア）についてフィードバックください





プログラム全体へのフィードバック

良かったこと、感謝

■ SSDC法人正会員企業関係者

- ・ **若い方の熱意やアイデアを感じることが出来た**ことは良かったです。業務を行いながらこれだけの情報を集め資料に落としプレゼンすることは相当なことだと感じました。
- ・ 事業化したいという**熱量は、昨年までとは比較にならないし、よりリアル**でした。
- ・ 今回数多くの社会課題をテーマに事業アイデアを考えていただき、**とても有意義**なプログラムになったと感じます。
- ・ 全ての発表に**個性があり熱量があり**アイデアがあり、**とても感動**しました。発表者の皆さん、スタッフの皆さん、本当にお疲れさまでした。たくさんの刺激をいただき、ありがとうございました。
- ・ 個人での活動であったため、**自分の思い**を100%乗せた状態のアイデアを作っている印象だった
- ・ **起業への意識や基準が高い環境**が作られていた
- ・ 今年度の活動お疲れ様でした。**運営メンバーのひとりとして関係者皆様の尽力にいつも感謝**しています。

■ 自治体・公共団体の関係者

- ・ **十日町市の協力隊員からご参加いただき、とても嬉しかった**です。長期間のブラッシュアップ支援ありがとうございました。
- ・ **想像していたより、幅広く面白いアイデア**が多かったです！また、**参加者と伴走者でヒアリングや事業検証などを進められていた**のを感じました！

■ SSDC個人準会員

- ・ 今年度は**壁打ちの機会に積極的に**勧誘することで、レベルの高い発表になったとおもいます。

■ その他SSDC関係者

- ・ **社会課題の解決つながっている、個人の原体験に基づいて**いる、**熱気を持って取り組んでいる**。いくつかの事例で、上記を充分に感じる発表があり着実に進んでいると思いました。

改善できること、期待したいこと

■ SSDC法人正会員企業関係者

- ・ 事業として持続可能にするには、**差別化ポイントがもう少しハッキリすると良い**と思う事業もありました。
- ・ 個人的には本当の意味で「**社会課題を解決**」を解決するためにも**ビジネス目線は重要**であるため、金の匂いのするプランへの指導、コーチをもっと充実期待したいです。
- ・ **バーチャルチームの活性化** →より効果的なチーム作りが必要
- ・ 「**起業**」をするということの**マインドセット**の確立

■ SSDC個人準会員

- ・ 事業化という面ではまだ深掘りが必要で、そういう面ではSSDCの人的資源を活用して、**中間発表や最終発表で意見をくださった関係者の方々にも期間中に任意で壁打ちの機会**をつくっていただけるように打診するなどしたほうが、より完成度がますのではとおもいました。



修了アンケート結果



Advanced修了アンケートサマリ

参加者属性	受講者数
学生	1名
社会人(法人正会員)	8名
社会人(各地域)	12名
計	21名

A) 当初受講者数：21

B) 修了時の受講者数：17

(完走率： $B \div A = 87\%$)

C) 修了アンケート回答数：17

(回答率： $C \div B = 100\%$)

修了アンケート項目概要

- **事業化への志向**
 - 事業化意欲・属性自己診断
 - 今後挑戦していきたいこと
- **事業創造デザインプログラムへのフィードバック**
 - プログラムの目的達成度
 - プログラムの満足度・印象に残った内容・身についたスキル
 - バーチャルチームへの貢献実感・バーチャルチームへの効果実感・ボトルネックポイント・稼働時間
 - テーマ設定要因・テーマ変更有無／理由
 - プログラムの推奨度・市場フィット度・価値・改善ポイント
- **SSDC活動への興味関心**
 - プログラム企画・運営への興味
 - イベントへの興味関心



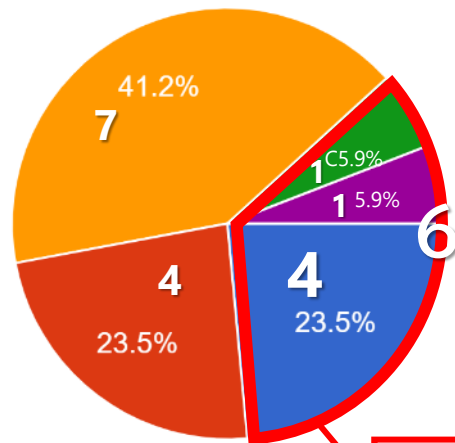
事業化意欲

本年度の参加者における「起業・事業化候補者層」は昨年度に比べて倍増（3名→6名）

自らの活動がMasterに選ばれた場合、事業化に進みたい候補者層

今後の活動意思の確認（自チーム or 自分の事業アイデアの活動）

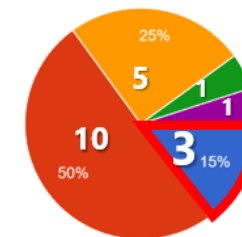
17 件の回答



- ぜひチームメンバーとして、または自身自身で事業化を目指したい
- 仕事や学業との兼ね合いで検討したい
- 今回はここまででよい
- 自分自身で事業化するという信念はありますが、SSDCという環境下でやるかどうか（自分の中で心地よいコミュニテ...
- はい、ぜひ自らの事業アイデアで、事業をマネタイズまで持っていき、社会を変えたい。

自らのテーマの起業・事業化
候補者層(約35%)

参考:2022年度修了アンケート
(N=20)



- ぜひチームメンバーとして事業化を目指したい
- 仕事や学業との兼ね合いで検討したい
- 今回はここまででよい
- 進めたい気持ちもありますが、仕事の状況を考えると現実的に継続するのは困難と考えています。
- 事業化を目指したい気持ちもあるが、仕事との兼ね合いや、今すぐに仕事よりも事業化へ注力することをイメージでき...

自チームテーマの
起業・事業化候補者層



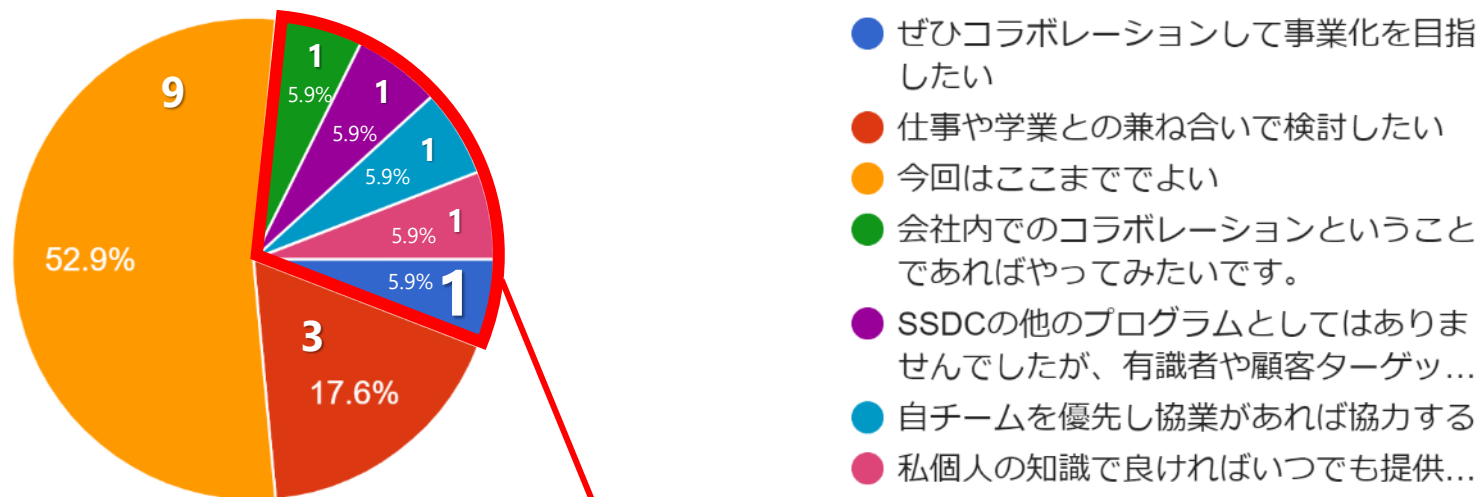
コラボレーション意思

事業化意欲の強い方ほど、他のメンバーとの協力・協業も必要と考えている方が多い

他の方とのコラボレーションによる事業化の推進

今後の活動意思の確認（他チーム or 他との事業アイデア の活動）

17 件の回答



他の方とのコラボレーションしたい方は5名(約3割)。
うち4名の方は自ら事業化したいと回答

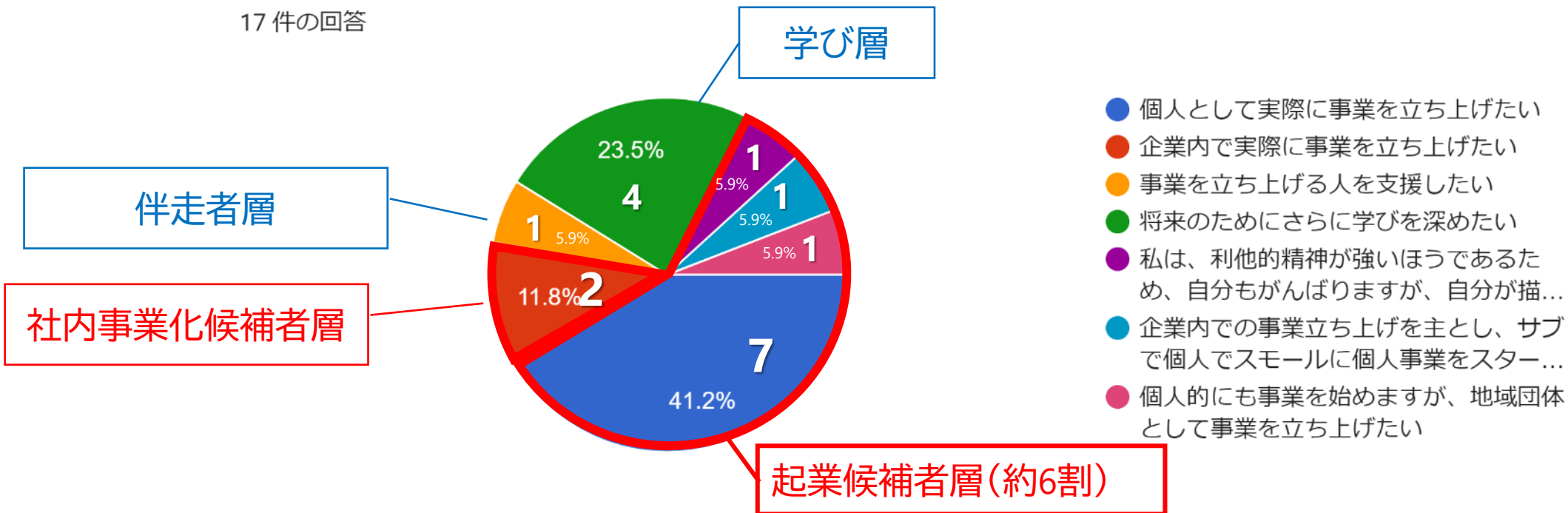


属性自己診断

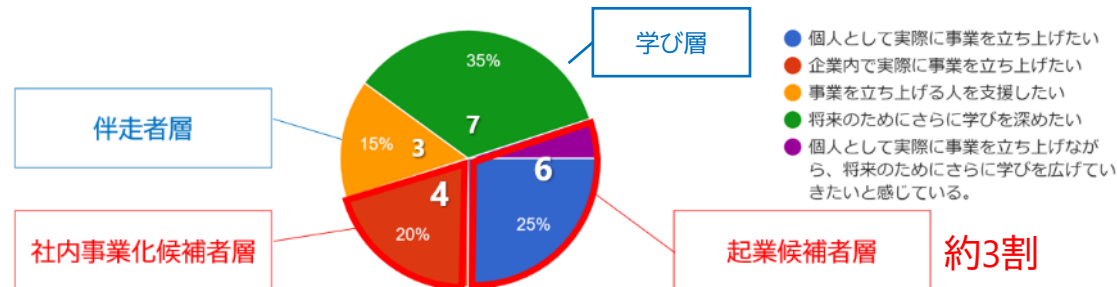
「学び層」は減少、「起業候補者層」は増加。社内より個人として事業を立ち上げたい人が多い

ご自身の属性

17 件の回答



参考:2022年度修了アンケート
(N=20)





今後挑戦していきたいこと

社内実践

- **社内での新規事業創造**への参画がもしできたら…！
- 社内での新規事業創出
- 社内で新規ビジネスを立ち上げる業務があるので、そちらで**生かしていきたい**です。
- 現在所属している会社での事業創造
- 社内での拡販業務を進めていきたいです。

組織学習

- まずは今回考えた事業アイデアを自身で推進する中で**学習**し次へ次へと**挑戦を繰り返**していきつつ、そこから得た学びと一緒に働くメンバーへ**転嫁**しながら**全体での成長**に繋がっていきたいと考えます。

スモールスタート

- **個人事業で小さく始めながら**HP作成とコンテンツ、アライアンスメンバーの拡充
- 小さいかもしれませんが**会社以外で稼ぐ事を始めたい**
- 身近な人の困りごとの解消と、今回考えたことは元々やろうとしていたことなので**少しずつやっていこう**と思う
- 今の事業に精一杯コミットします。

共創

- 私は本事業は決して自分の力だけでできるとは考えておらず、**共感くださるチームや組織と一緒にやりたい**と考えています。本事業は一つの例で、他社がやれなかったことをやっているにすぎません。とはいえ、王道のやり方ではないため、賛否両論はあります。支援してくださる方が多ければ、王道を進みますが、支援してくださる人が少なければ王道にも進めないなので、その辺のバランスを考えながら進めています。
- 本事業は私が**個人的な経験を起点**とした事業ですが、**もし本事業が事業会社や、他メンバーとの共創などともなれば**とても嬉しいです。

地域実践

- 松之山の**過疎化を止めたい**。
- **松之山地域で植物や樹木の香りを活用する様々な取り組みを行っていきます**。山の中に残された杉の枝葉や、今まで活用されず放置されてきたクロモジ、ニオイコブシから精油をつくり新たな価値を生み出し、販売することで地域の活性化に繋がっていきます。精油の心身の治癒効果を利用して、認知症予防講座などを地域に伝えることで高齢者の暮らしに貢献します。ゆくゆくは普段見ることのできない精油の蒸留を見て、香って、体験していただける「蒸留体験ツアー」を企画し、地区内外に**松之山の新しい魅力を発信**します。また、ラベンダーの栽培でも園芸療法として様々な効果が期待できるので、地元原産の和精油として商品展開し、暮らしを豊かにすることで松之山**地域の移住・定住の促進に繋がりたい**と考えています。
- 今回の参加をきっかけに、これから地域のために何ができるか、自分自身を見つめ直し、協力隊退任後にむけて準備する気持ちが整理できました。あたらしく挑戦していくことがすべて収益に繋がらないかもしれませんが、協力隊としてやってきたことが今後につなげることができ、**地域のためになり、将来的には地域の課題改善になることに今後も挑戦していきたい**と思っています。もちろん、収益化にも挑戦します。

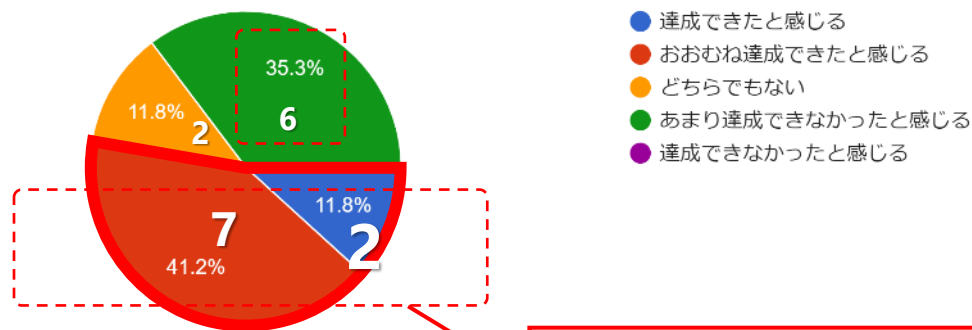


プログラムの目的達成度

過半数が「概ね達成」と回答。設定したテーマを確信できず、思い通り走り切れなかった層も増加。

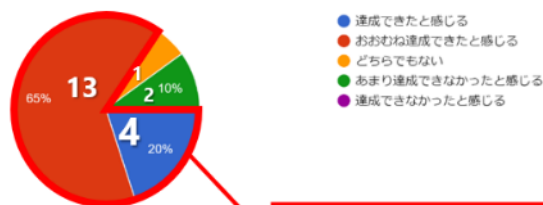
プログラムの目的達成度合い

17 件の回答



Positive層
(達成／おおむね達成)

参考: 2022年度修了アンケート
(N=20)



Positive層

【Positive (達成できた／おおむね達成できた)】

- 顧客ニーズを掘り下げる。一旦自分を俯瞰して見てみる。もう一度事業の道筋を考える。など、周りの方々の目線なども参考にさせていただきました。
- 事業を創造するスキルを身に着けるという目的をもって臨み、今はそのスキルが身に付いたと実感しているから。
- 事業創造の手法を学習し社会課題起点で事業アイデア創出を目的として参加し、手法の学習とアイデア創出のプロセスを経過することはできたためです。
- 自身の事業アイデアをサポート頂きながら一定程度纏める事が出来たから。
- 地域課題に根差した新規事業創造という観点では実行フェーズに移すことはできなかったが、発表までのプロセスは形になっていたと思う。学び要素が大きくはなってしまったが、今後の社会人人生において大いなる収穫になったと感じる。
- 「事業創造の知識を身に着けること」を目的として取り組み、フレームワークや考え方について、学びを深めることができたため。
- 松之山の人口増加を目的に参加しました。プログラムへの参加で、松之山の問題点・必要とされていることが明確になりました。ただ実際に事業を始めることを考えると、まだまだ足りない部分があると感じたため"おおむね達成"を選択しました。
- 自分の漠然とした思いをまずはひとつ事業コンセプトに落とし込むことができたから

【Neutral (どちらでもない)】

- 事業コンセプトのブラッシュアップを目的に参加しましたが、通常業務に言い訳して思うようにユーザーヒアリングや課題の深堀ができませんでした。またSSDCの豊富なネットワークや知見をほとんど有効活用させていただくことができなかったと反省していますが、最終発表までにコンセプトまではカタチにできたのは良かったです。
- 事業プレゼンに至らなかったため。

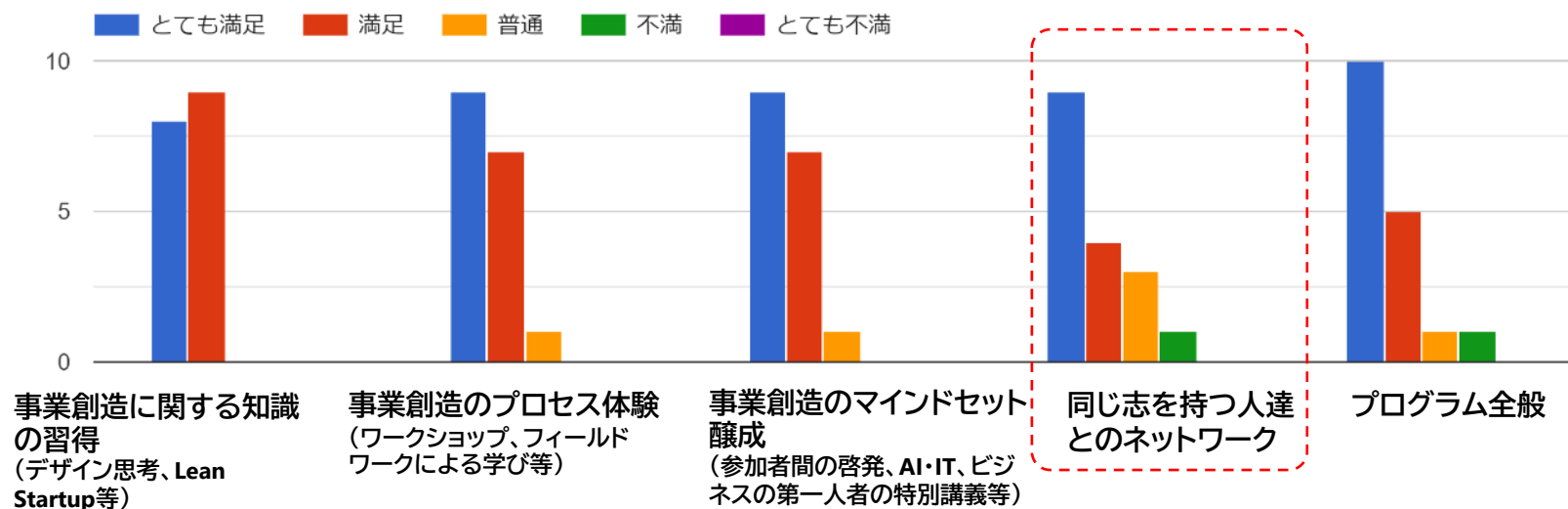
【Negative (あまり達成できなかった)】

- 中盤でピボットした上にそこに到達出来なかったため。
- 事業作りを目指したが課題など二転三転してしまい詰める事ができなかった
- 地域課題として「自分のやりたいこと」よりも「誰かがやらなければならないこと」をテーマに掲げた。そのために、テーマを深堀りすればするほどに、自分のやりたいこととはかけ離れていった感がある。



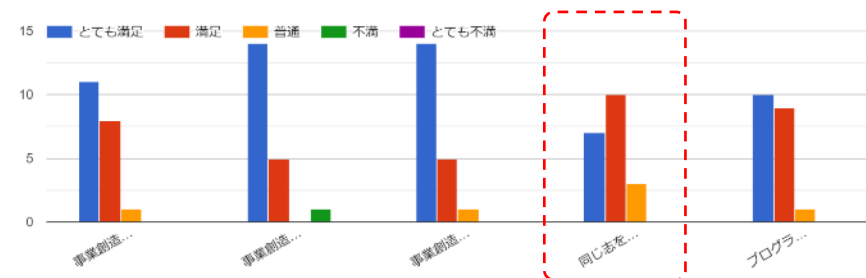
プログラムの満足度

全般的に高い満足度。中でも、繋がり（ネットワーキング）に対する満足度が昨年より高い。



参考: 2022年度修了アンケート
(N=20)

プログラムの満足度





印象に残った内容

事業創造の手法

- ソリューション**インタビュー** 発表資料作成
- インタビュー**が印象的だった。当事者の本当のニーズが判明し、ソリューションコンセプトが明確になった実感があった。
- 市場調査**。競合や市場規模、成長性を調べることで、新たなビジョンが大量に見えるようになったため。
- 事業化の考え方全般**：そもそも事業を起こすことを考えたことが今までなく、こういった形で事業を組み立てていくのか、など勉強になりました。
- アイデアの発散のやり方**、結局うまくはできなかったが、いろいろな方法を知ることができた

つながり／交流

- バーチャルチーム**も最初はすこし違和感がありましたが、長期のプログラムが進むにつれて単純接触効果なのか会話も増えて、**相手の事業案が自分ゴトになってくるような気がしてとても良かった**です
- 人生にミッションを持たれている方がいたこと**、ビジネスなのでお金を稼ぐことが第一に考えられる方が多いのかと思っていましたがそれだけではないのが印象的でした。
- 個人向けサービス(コーチングやコンサルなど)を副業として志す方々の思いや事業プラン**などが非常に興味深かった。理由は自分もそのような事業での起業に興味がないわけではないからです。
- Day 4 の中間発表の際、テーマを変更することにしたため資料の作り込みがあまりできていなかったが、個人的に相談させてもらい、アドバイス頂けて非常に参考になりました。

ゲスト講義／多様な視点

- 新規事業に関しては自分に必要なスキルや情報のみを取捨選択して、つつこんでいくようなことがおおいですが、**多様なゲストの登壇とそのお話は思いもしない確度からの気づき**が会って非常に良かったです
- 大澤孝さん特別講義「心を揺さぶるアイデアの作り方と伝え方」**（不からではなくプラスを追い求める事業創造の方法もあると知れた）
- 『心を揺さぶるアイデアの作り方と伝え方』：**とても話が面白かった**から、求められるものの作り方や伝え方が知れたから
- おもちゃプロデューサーの大澤さんの「**情緒的価値**」のお話も非常に深く心に残っており、どちらも自身が営業を行う上でも特に意識したい二つのワードとなった。
- 釣り、タカラトミーのお話の件とその視点**
- 弁護士の方が**株式会社 合同会社 個人事業の違いや立ち上げる時に必要な士の方の違い**は、新しい発見でした

壁打ち

- 最終報告会**、今までの実践してきたことを**壁打ち**で磨き上げて報告できたこと。
- 壁打ち会

原点 事業創造の

- 週次定例会の壁打ちで担当ファシリから繰り返し反芻いただいた、「**誰のためのどんな課題を解決したいかを考える**」この言葉が常に頭に残り続けている。
- 経験によりプログラム全般の印象は強いですが、プログラムを進めていく過程でキックオフでの**メッセージにあった「motive」**を捉える難しさを実感しました。



身についたスキル

事業創造の流れ

- 事業アイデアの創造を実体験で思考し経験したため、**不**を起点とした**事業創造のプロセス**を自身で推進する知識とスキルは身に付いたと感じています。
- 事業を見つける時のフロー。**不**をどうやって**事業にしてい**くかの知識は身についたと思う
- 事業コンセプトの**枠組み**の考え方、事業コンセプトをつくるまでの**流れ**：実際に経験できたから

事業創造のフレームワーク／スキル

- 事業創造に必要な**フレームワーク**
- アイデア**の発散のやり方
- 初期ビジネスモデル**の作成
- 質問力と体系化した学び
- インタビュー**、まだまだ改善の余地はあるが**実際の声を聴くことの大切さ**を知った
- インタビュースキル：**インタビューは初めての経験**で、実際にインタビューすることでスキルが身に付いたと感じます。
- 事業コンセプトの作成方法。理論、フレームワーク、思考法を理解し、実践することで**事業創造に必要なスキルセット、マインドセット**を身に着けることができたから

デザイン思考

- デザイン思考** 情緒的企画要素 影響力 聞き手に合わせた説明要約
まだまだですが・・・
- デザイン思考**（元々ロジカルシンキングの一部としてデザイン思考のようなフレームワークは持っていたが、今回改めて体系的に学んだことで身に付いたと思う）
- 常に、サービスの**利用者の目線**で価値があるものを提供するように思考するクセ。
- 「**誰のためのどんな課題を解決したいのか**」これを常に考えることができるようになったと感じる。どんな顧客向け提案であっても、社内向けの活動であってもそこには人によってそれぞれ課題があり、その中でペルソナを仮定して訴求できるかという点を意識できるようになった。
- デザイン思考**を養うことが出来た。ユーザー中心のアプローチを取り入れ、新しいアイデアを創出する流れを学んだ。

その他

- お願いスキル**：自分からお願いすることがひじょーーーーーうに苦手なのですが、今回企画検討のヒアリングなど、様々な方に「お願い」をすることに対してすこしだけハードルが下がりました（というかやらざるを得なかった）

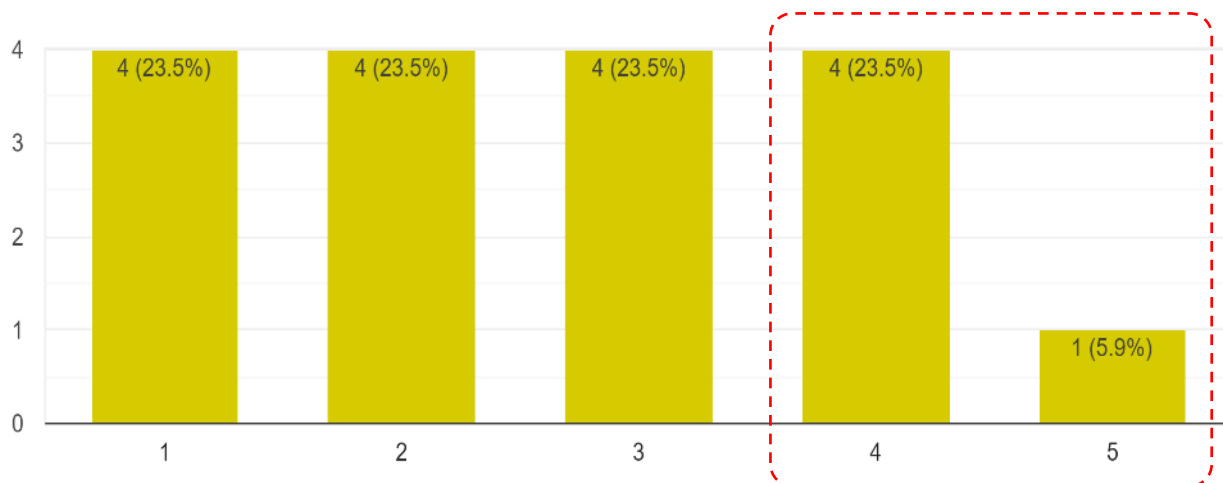


バーチャルチームへの貢献実感

人によって回答にばらつきあり。貢献実感の有無は自身またはメンバーの参加率が影響。

バーチャルチームへの貢献実感

17件の回答



←ぜんぜん貢献できなかったと感じる

とても貢献できたと感じる→

※中間報告会后アンケートより

【Positive】

- お互いが自分の企画のように**アドバイスをしあっている**のでとても**良い雰囲気**でできている。
- **皆さんの意見を持ち寄って**、良いチームになっていると考えられているから

【Negative】

- いまはあまり発言ができていない。**忌憚なくお互い意見を言い合うかどうか悩んで**しまう。
- **参加率が低い 毎回同じメンバー**(2名/5名)。参加しやすいような雰囲気づくり 発言を増やす(自分も)
- 忙しくてあまり参加ができていなかった
- **業務都合で参加できていない**ため。申し訳ございません。
- **メンバー間の温度差**、打合せへの不参加をなるべくなくしていきたい
- 仕事兼ね合いで毎週参加できていないため
- 私も含め参加できない人がいるので、全員参加度はないため

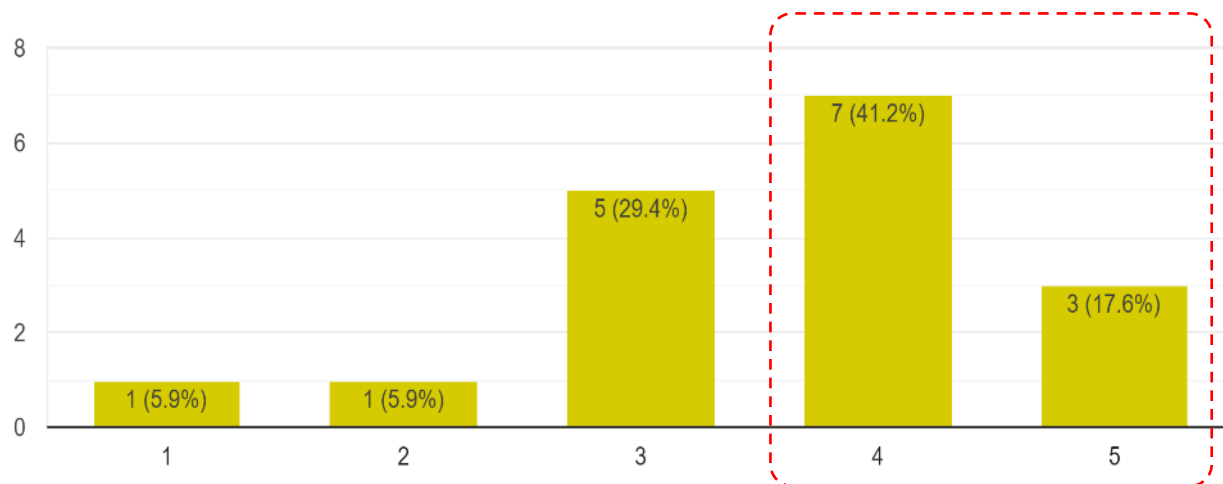


バーチャルチームへの効果実感

約6割が「効果あり」。多角的視点が得られるなど進捗にポジティブな相互影響がみられた。

バーチャルチームの効果実感

17件の回答



←ぜんぜん効果がなかったと感じる

とても効果があったと感じる→

※中間報告会后アンケートより

【Positive】

- ・ チームメンバーが私のソリューションテーマでインタビューしてくるなど**相乗効果が発揮**されている。（こちらからまだ**御返し出来ていないので何か返したい**と心から思っている）
- ・ **一人では知り得ない情報や考え方**、アイデアを共有する場が、アイデアの**進捗に大きく関わる**と感じた。
- ・ **思ってもいない違った切り口**からの質問だったりをいただけるので助かります。
- ・ ソリューションの**ジャンルが似た方々が**何名かいらっしゃり、自身のソリューションに**有益な情報**を得ることができていると考えるため。

【Neutral】

- ・ 同じチーム内で配慮してなのか、もう少し議論できればいい。**回数を重ねて意見は活発**になってきました。

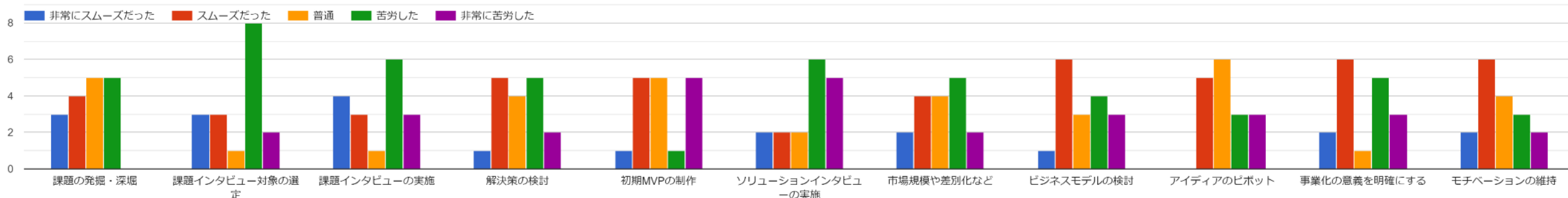
【Negative】

- ・ **報告がメインで先の繋がり**が見いだせてない。慣れた人が入ってファシリテータをする。



活動のボトルネックポイント

Advanced でのボトルネックポイント



2022年度と
ほぼ同水準

インタビューに苦戦

2022年度と
ほぼ同水準

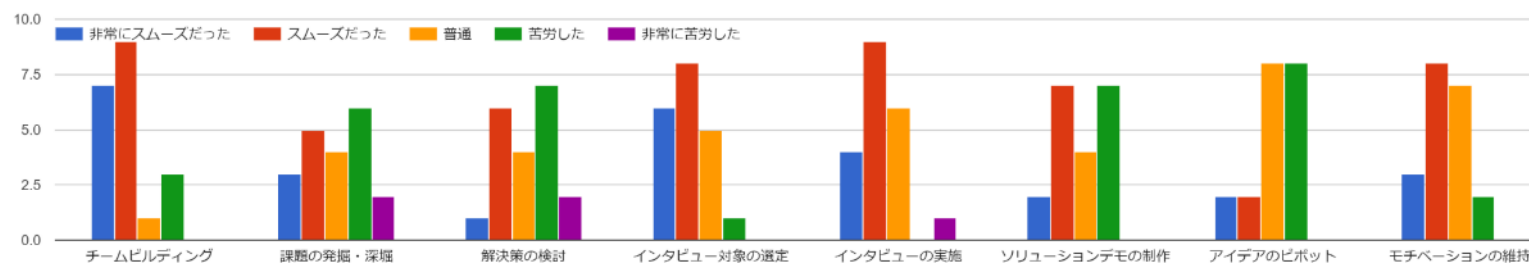
MVPに
一部は苦戦

インタビューに
苦戦

2022年度と
ほぼ同水準

参考:2022年度修了アンケート
(N=20)

チーム活動のボトルネックポイント





スムーズさの要因

起業・事業化候補者層

- 元々モチベーションは高い位置を保っている
- 元々、事業創造したい思いがあり、事前に身の回りの環境が良かったから。自分で求めて行動を起こしていったから
- 私のモチベーションが高かったこと、自分ごと化されていること。
- 事務局の皆様から支援いただいたから
- プログラムで思考する過程が面白く、また、インタビューやアンケートでの内容に共感を持つ事ができたため、モチベーションの維持はスムーズでした。

仕事・学業との兼ね合い層

- 課題に対する自分の想いや解決策は自分の考えベースだったのでスムーズだった。まわりは肉付けをしてくれました。
- 空いている時間を使ってひたすら考えたので資料に手を付け出しからは早かった。
- 経験があったので、あまり難しくはなかった。

今回は11月まで層

- 時間が限られる中だったため、チームメンバーと協力して役割分担をしながら、毎回のDayまでに実施するマイルストーンを定めて実行することができた。バーチャルチームメンバーや講師の皆さんのフィードバックも細かいことはとりあえず考慮せず、積極的にアイデアに盛り込むことで効果的に推進ができた。
- 不明なこと、迷うことがあればすぐに、バーチャルチームやデザイナーの方に意見をもらっていた。
- チームであったからこそ、複数の視点から物事を見ることができたと思います。
- チームで取り組んでいたため、それぞれの得意分野で役割分担をすることができた
- 既存のビジネスモデルを調べた



苦勞の要因

起業・事業化候補者層

- ・ **初めての経験**であり**理解してコツをつかむまで苦勞**した。見本の展開や疑似体験など。
- ・ 自身の新たな学習やスキル習得にむけた要素が多かったため、**自身への落とし込みと実践での取組みを繰り返す**必要があったため**時間を要し苦勞**しました。
- ・ **面識のない方に申し込んでもアポさえ頂けない**。同業が集まりそうな講演会 懇親会に参加して数件インタビューできた。
- ・ 私自身の頭の整理ができておらず、**マネタイズとのバランスがとても難易度の高い事業に取り組んでいる**ことで、もっと多くの人達に相談が必要だと考えていること。
- ・ 後半なかなか**時間をとれなくな**ってきたり、**一人で考えてはどう解決したらいいかわからなくな**ったりしたこと。壁打ち会で少し前に進めた気がする
- ・ **他人が関わる点**。他人に依頼をしたり、ファーストコンタクトをとるのが苦手なので。とても甘えで「ふざけんな」となりそうですが、強制的にそのような場がセッティングされると非常にうれしいです。笑
- ・ **選択した課題が大きすぎた**ため、インタビューを進めると更なる課題が見えてきて終わりが無かった。
- ・ 自分が**プログラムに参加することが難しく**、ワークシートなどの課題に取り組むことができなかったことで、自分の考えをまとめることが難しかった。また、プログラムの課題をうまく表現できていなかった

仕事・学業との兼ね合い層

今回はここまで層

- ・ **実ユーザとなりうる方々との壁打ちが難しく**、特定層のみにしかインタビューができなかったので偏った意見しかもらえていない可能性があり、説得力に欠ける部分があった。インタビュー対象の選定・依頼もそうだが、**自分たちが本気で解決をしたい課題なのかが問われる**シーンがあった。
- ・ チームでの参加でしたが、**チーム内での打ち合わせ時間の確保**がなかなかうまくいきませんでした。
- ・ 不の発見と見つかったとして**周りにそのような人がいないとただの空想しかない**
- ・ プログラムの参加にあたり、私たちは協力隊業務の時間外に合間を縫って時間を作る必要があったため、プログラムの時間を捻出することが精神的にとっても大変だった。例えば、**協力隊としてこちらのプログラムの参加が全面的に認められていたらもっと罪悪感なく全力で取り組めた**と思う。十日町市や里山プロジェクトに、このようなプログラムに協力隊が参加することを認めて欲しいし、ここに参加することを応援する体制を整えてほしい。
- ・ **モチベーションの保ち方、学び程度の考えで参加すると厳しいかも**もしれないです。

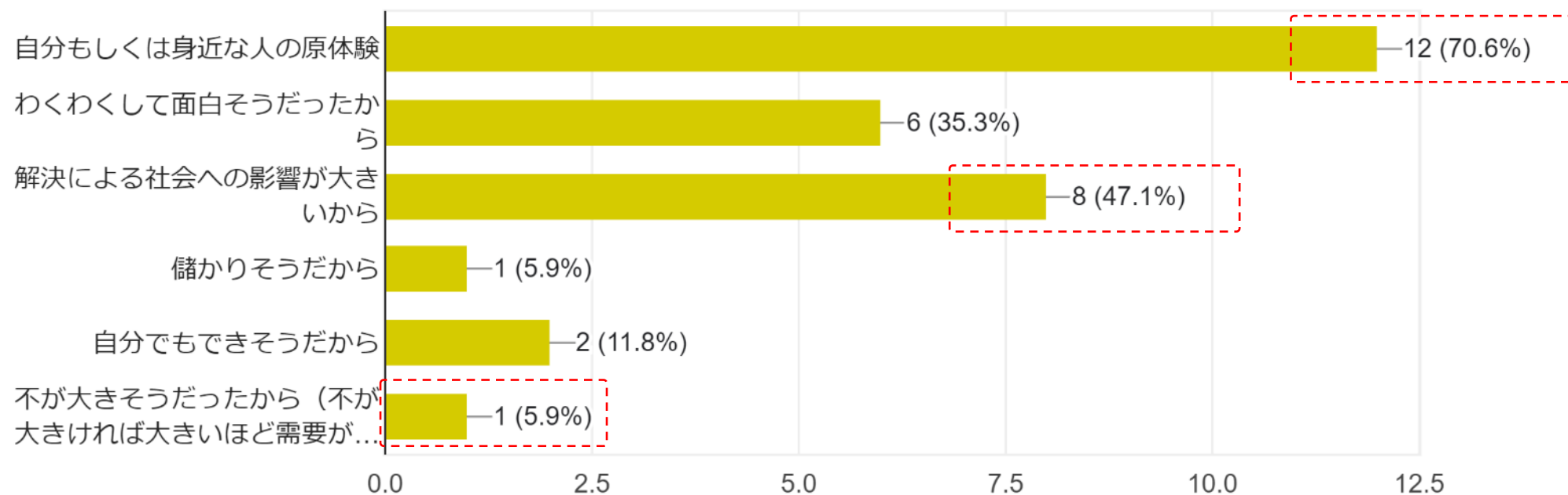


テーマ設定の際に与えた要因

「原体験」と「社会インパクト」によりテーマを設定した受講者が多かった

あなたがテーマを設定する際に影響を与えた要因について教えてください（複数選択可）

17 件の回答



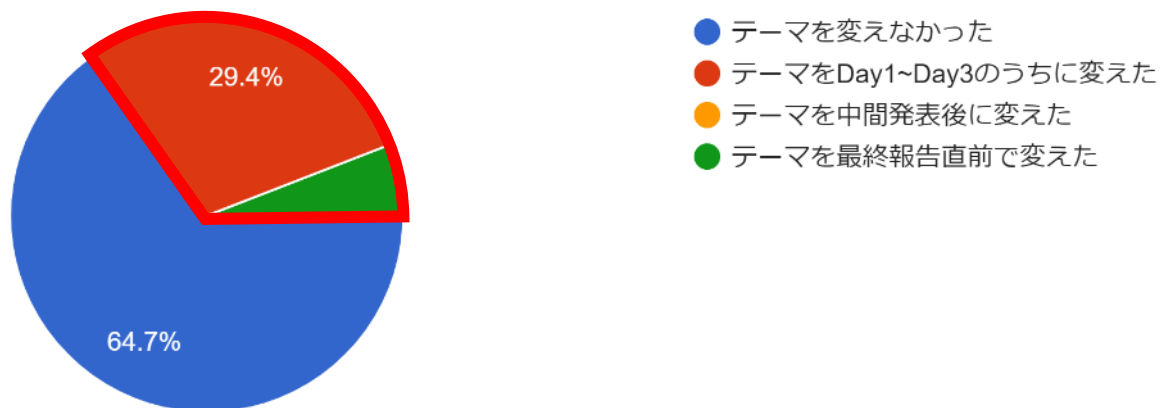


テーマの変更有無と理由

開始時のテーマで具体化できない等の理由により約3割の受講者が途中でテーマを変更

プログラム期間中、あなたは取り組みテーマを変えましたか？

17件の回答



【変更理由】

- 身近に不を感じる人がいない
- 元々のテーマとして考えていた事象が流れた
- 十日町市の他の地域で同じような課題をテーマにしていたので、差別化のために変更
- 元から行っていた事業と合わせて2つにコミットすることに限界を感じたため。
- キャッチコピーとしてささりそうな言葉を再検討した



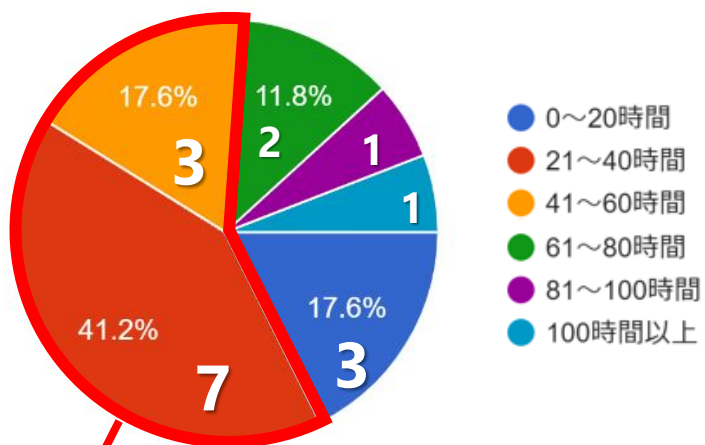
稼働時間

※全体で集まる日程（Day1～Day8）以外に稼働頂いた概算時間

約6割が「21～60時間」。起業・事業化候補者層ほど稼働時間が多い傾向がみられる。

稼働時間

17 件の回答



当初想定範囲

属性別の稼働時間

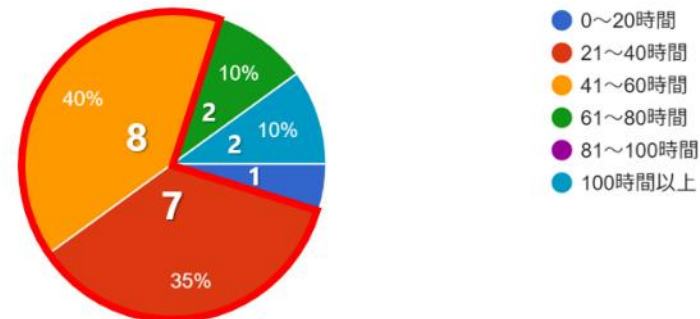
※期間は13週間（Day1～Day8）

	0～20時間	21～40時間	41～60時間	61～80時間	81～100時間	100時間以上
起業・事業化候補者層			3	1	1	1
仕事や学業の兼ね合いで検討したい層	2	1		1		
今回はここまででよい層	1	6				

稼働時間

20 件の回答

参考:2022年度修了ア
(N=20)

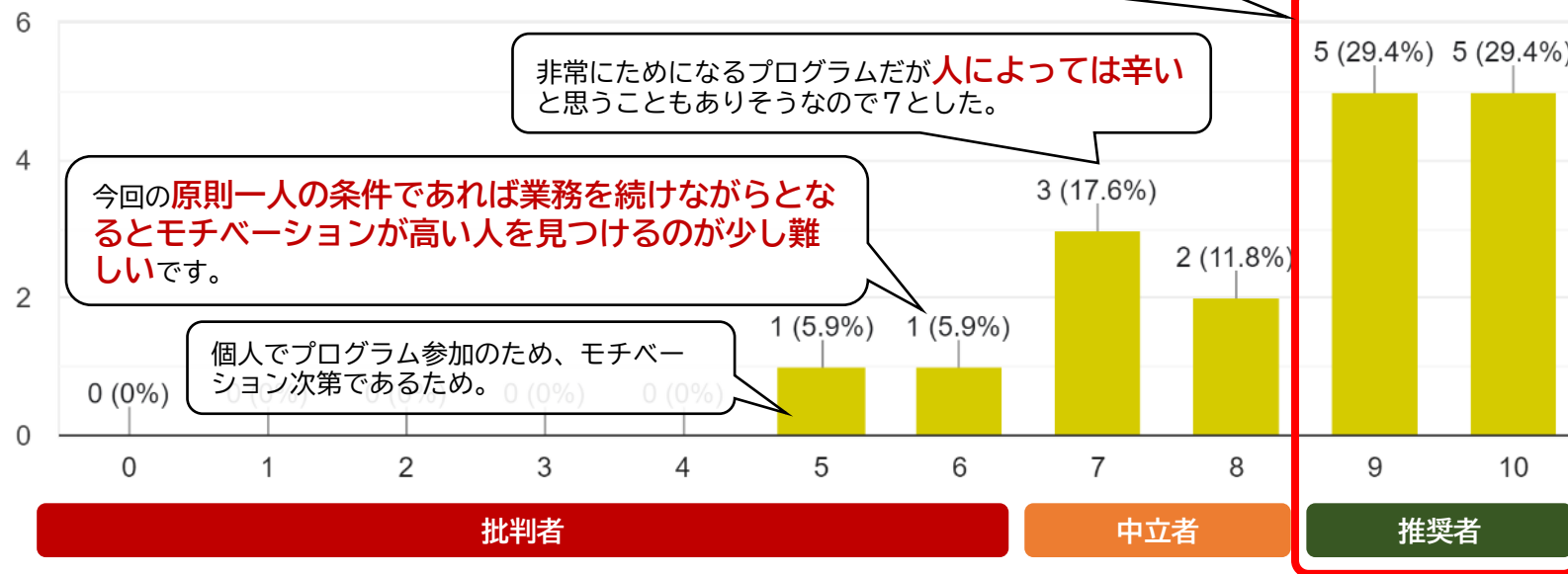




プログラムの推奨度

約6割が推奨者。批評者にとっては個人でのテーマ推進が負担が大きい点などが推奨できない理由。

プログラムの推奨度
17件の回答



一現場担当者では体験することのできない密度で活動することができた。特に**業種も地域も年齢も異なる方々との壁打ち・交流は非常に刺激になった**ため、全社員がこの感覚を持てるとすごく風通しの良い会社になると感じた。

新規事業入門として**基本的な知識、フレームワーク、マインドなどを勉強**でき、運営メンバーの方も話しやすくとても**手厚いサポート**をいただけたため

非常にためになるプログラムだが**人によっては辛い**と思うこともありそうなので7とした。

今回の**原則一人の条件**であれば業務を続けながらとなるとモチベーションが高い人を見つけるのが少し難しいです。

個人でプログラム参加のため、モチベーション次第であるため。

中小企業 個人事業の幹部 オーナー
こそ体験してほしい。時間、学びの場、異業種の交流、教えていただく体験が少ないから

事業創造を目指す場合も学習とする場合も事業会社での業務や志とは異なる要素を吸収する良い機会となり、また、**自分自身の思考やミッションと向き合う時間**ともなるためです。

体系的に学べる

事業化についてしっかりとした角度で分析をして手前まで検証ができること



プログラムをお薦めしたい人

【事業立上げを目指している人】

- 事業を起こしたい個人や社内で新規事業を起こしたい人
- 事業創造を体系的に学び、チャレンジしたい人。
- 事業創造に興味があり、やる気もあるが何から始めたらよいかよくわからない人。業務量を調整して、ある程度プログラムに時間をかけられる人。積極的にコミュニケーションがとれるひと。
- 起業してみたいなと思ったとがある方、自分で最近やりたいことができた方

【社会人】

- 社会人2～3年目
- 本業に慣れてきたものの周囲を見渡す機会の少なかった20-30代の世代に気付きや新たな発見の機会となり得るため薦めたいと考えます。
- 中小企業 個人事業の幹部 オーナーこそ体験してほしい。時間、学びの場、異業種の交流、教えていただく体験が少ないから
- 30代前半で自身の会社でのミッションもある程度確立されているが、少々マンネリ気味でもあるが、この安定した待遇と状況にある程度満足をしている人

【その他のペルソナ】

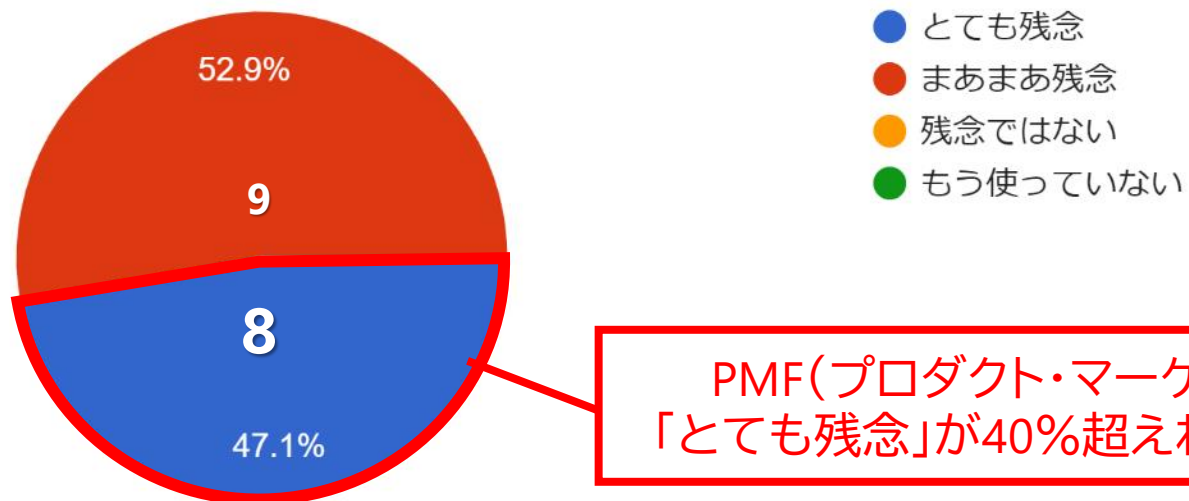
- 松之山チームと同じような課題を持つ地域の、地域起こし協力隊
- 協力隊だけでなく、支援員や地域の仕事に携わる方
- 上司や会社、行政、地域、同じ志を持って取り組むことができたならとてもよい影響の輪が広がると思います。私たちだけがこの思考になっても、受け入れる側が変わる気がなければ機能しないから、松之山は本当の意味で地域おこしをしたいなら、地域づくりに関わる方々みんな受講する必要があると思います。
- 自分の人生の目的が分からなくて辛いと思っている人



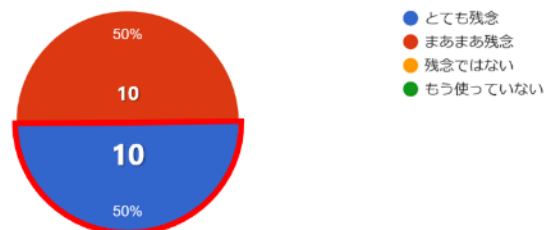
プログラムの市場フィット度

約半数が「プログラムがなくなったらとても残念」と回答

プログラムのショーン・エリステスト
17件の回答



参考: 2022年度修了アンケート
(N=20)





プログラムの価値



1.「社会を変える」事業コンセプトづくり

- **実践**しながらここまでの内容でここまで行ける（事業化の手前）のであれば価値は高い
- 課題やテーマを捉える中で**自分自身の思考やミッションと向き合う事が出来る点**です。
- 今回、**地域の価値**を考え、**価値を活かす事業**を考えました。



2.「最新AI技術・ビジネス」アドバイス



3.「アイデア実現」伴走支援

- 事務局皆様の**ファシリテーションスキル**を学びました。
- 講師の方々のファシリタ



4.「繋がり」コミュニティ

- モチベーションの高い**仲間**と切磋琢磨できる点。
- 事業創造を**仲間**と共にできる、意見をもらえること、壁打ちできること
- コミュニティ、雰囲気
- 事業創造に対する**情熱・多種多様な方々との交流**
- **他の方達の考える事業を一から見る**ことができるのはなかなかない経験で、そこに価値を感じました。
- 自分だけでなく**人のビジネスの考えを知れる** 自分ではそんなのビジネスになるのと思ったものでも話を聞くとするほどと思い新しい発見でした
- 地域の中だけにいると、見えないことがたくさんあります。初心に帰る意味でも、他**分野で起業を志す方々や他ビジネスで活躍されている方々の意見や助言**を聞くことはとても大事だと感じました。
- **会社外の方との交流、異なる考え方に触れることができる機会**
- SSDCに関わる方々のコミュニティ
- SSDCの方々の**様々な有識者のお繋ぎ**が一番価値があると思いました
- **全く属性の違う人の向上心に触れられたことに大きな価値**があったと気づいた。
- **人脈**ネットワーク



5.「事業創造」習得と実践

- 自身のアイデアをまとめる際のプログラム
- アイデアを具体的な事業案に押し上げていくプロセスを体験的に学習
- 事業創造に関して、体系的に学びを深められること
- 考え方について拡張できること
- 考え方について拡張できること



プログラムの改善ポイント



1.「社会を変える」事業コンセプトづくり

- 片手間ではなく協力隊退任後にもう一度、**自分のやりたいことをテーマに掲げて取り組んでみたい**です。なので、改善策に関してはすべて私自身の問題です。



2.「最新AI技術・ビジネス」アドバイス

- 最終報告での一連の内容を踏まえ自身のアイディアに**科学技術要素が知識不足で組み込みきれなかった**ため、プログラムを纏める過程で要素を含む意識付けや実装を具体化する検討の機会（**専門のアドバイザリーとの壁打ちなど**）があると良いかと感じました。
- IT に縁遠いと誤認している業種の経営者など**会員企業以外のメンバーが複数いるといい**と感じました。
- 私自身、**生成AIの利活用がうまくできなかった**ので、その部分を事業に取り組んで説明することに苦労しました。実際、理解できていなかったのかもしれない。。。



3.「アイデア実現」伴走支援

- Zoom** によるQ&Aや補足解説などを設けるとさらに良くなると思いました（やる方は大変ですが）

- 進捗度合いが異なるので**足並みをそろえて実施することに意味があるとは思わないが、どうしても**プログラム後半に少しだれてしまった**気がします

- 中山間地ワンオペ子育て中の身としては、夜の時間のプログラム参加や壁打ち会の**時間の捻出**がとても難しく(仕事と子育ての狭間で時間作れず)、全力で取り組めなかったことに悔いが残ります



4.「繋がり」コミュニティ

- とにかく**失敗を恐れない**。という**最低限のマインドセットをクリアした、やる気のある人をもっと選抜すべき**だと考えます。
- プログラムに取り組む**情熱の粒度がばらけている**のが難しいところと感じた。**正会員企業からの参加者は**就業で取り組める場合も多いのでモチベーションリーダになりながら、**地域や学生・非会員企業参加者を盛り上げられるように**各々がサブミッションを持てるといいと感じた。
- バーチャルチームのシャッフル**
- メンバーのサブmtgで祝日はやらなかったり遅い時間はやらなかったり。なんか変だなと思っていたのですか、仕事として参加されている方というのが発覚 時間的な意味でやり辛かったです



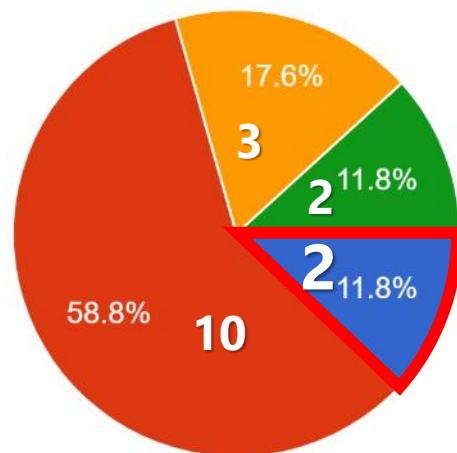
5.「事業創造」習得と実践



プログラム企画・運営への興味

企画・運営への興味関心

17 件の回答

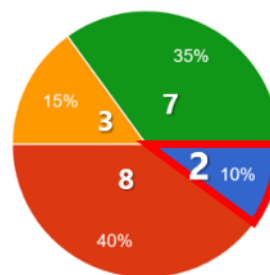


- 企画・運営側にぜひ携わってみたい
- 興味があるイベントであれば考えてみたい
- ゲストとしての参加であれば考えてみたい
- とくに興味はない

企画・運営への興味関心

20 件の回答

参考:2022年度修了アンケート
(N=20)



- 企画・運営側にぜひ携わってみたい
- 興味があるイベントであれば考えてみたい
- ゲストとしての参加であれば考えてみたい
- とくに興味はない

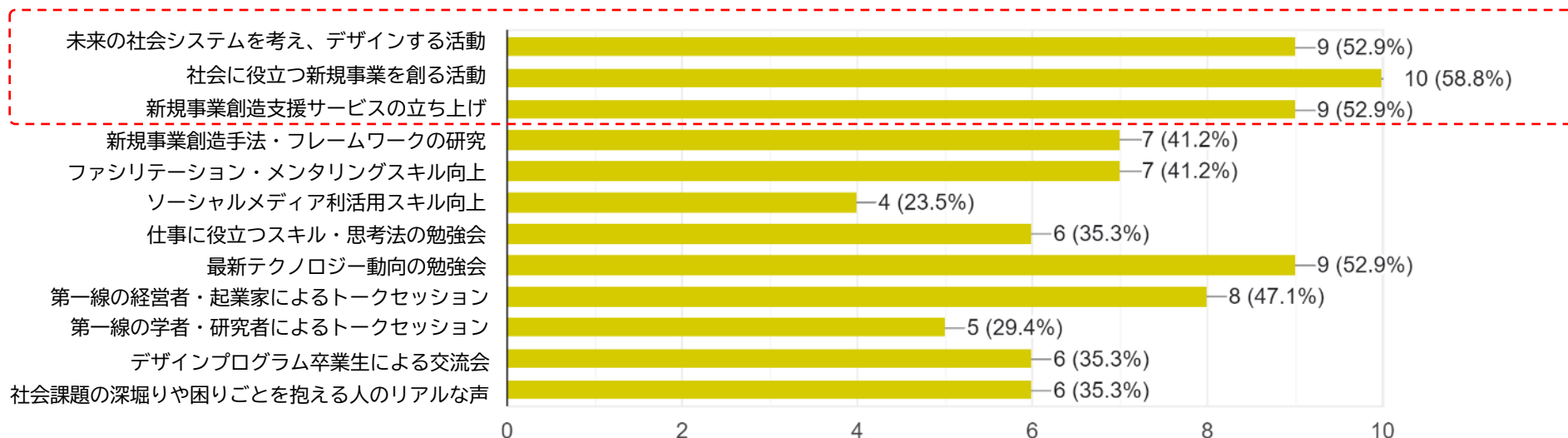


SSDCイベントへの興味

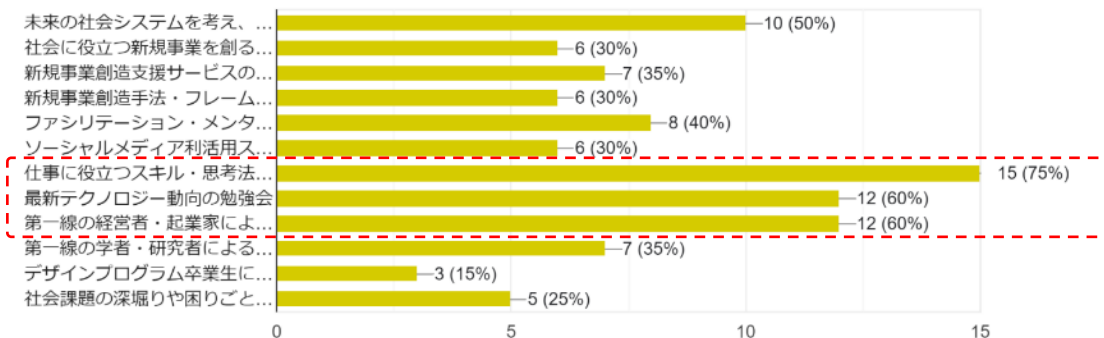
イベントの興味関心は、「仕事に役立つ思考法・スキル」から「社会システムデザインや新規事業創造」へ

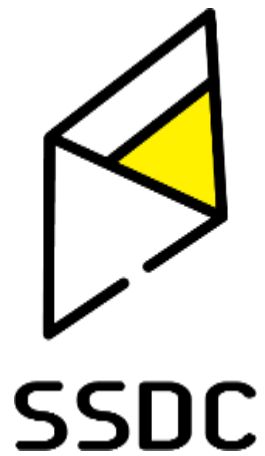
イベントに関する興味関心

17件の回答



参考:2022年度修了アンケート
(N=20)





人と社会の幸せな未来のために